

# 助成申請書

申請日 2023年5月26日

一般財団法人日本民間公益活動連携機構 殿

申請団体の住所 団体住所 東京都中央区日本橋室町一丁目8番7号 東信室町ビル4F  
申請団体の名称 団体名称 一般社団法人グラミン日本  
代表者の氏名 代表者氏名 百野 公裕  
法人番号 法人番号 4010005027298

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年法律第101号）に基づき資金分配団体として助成を受けたく、下記のとおり申請をします。

なお、下記4に記載した誓約等の内容について相違がなく、これらの誓約等に反したことにより、選定の取り消し等が行われることとなっても、異議は一切申し立てません。

## 記

- 申請団体の名称：団体名称 一般社団法人グラミン日本
- 申請団体の住所：団体住所 東京都中央区日本橋室町一丁目8番7号 東信室町ビル4F
- 資金分配団体としての  
業務を行う事務所の所在地：事務所の所在地 東京都中央区日本橋室町一丁目8番7号 東信室町ビル4F
- 申請団体が申請に際して確認した別紙（次の（1）～（4））の事項等  
（1）欠格事由について  
（2）公正な事業実施について  
（3）規程類の後日提出について（※通常枠のみ該当）  
（4）情報公開について（情報公開同意書）
- 当団体が行政機関から受けた指導、命令等に対する措置の状況は次のとおりである。

指導等の年月日	指導等の内容	団体における措置状況
※4 該当なし	※4 該当なし	※4 該当なし

### ※記入上の注意点

- 印については、「代表者の印」として印鑑登録済の印を押印してください。
- 法人番号については、国税庁から指定・通知される13桁の法人番号を記載してください。
- 住所及び事務所の所在地については、登記のとおり記載してください。また、住所は、主たる事務所の所在地を記載し、従たる事務所がある場合、当該事務所においても資金分配団体としての業務を行うときは、当該事務所の所在地も記載してください。
- 上記5については、記入が必要な欄がありますので、内容をご確認の上ご記入ください。なお、該当がない場合にも、「該当なし」と記載して頂く必要があります。

以上

(別紙)

## 1 欠格事由について

当団体は、次の1から4のいずれにも該当しないことを確認し、将来においても該当しないことを誓約します。

1. 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年法律第101号）」（以下「法」という。）第17条第3項に掲げる団体で、次のいずれかに該当するもの
  - (1) 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする団体
  - (2) 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とする団体
  - (3) 特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。以下この号において同じ。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする団体
  - (4) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。（5）において同じ。）
  - (5) 暴力団又はその構成員（暴力団の構成団体の構成員を含む。以下同じ。）若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制の下にある団体
2. 暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する反社会的団体
3. 指定活用団体の指定、資金分配団体の選定若しくは実行団体の選定を取り消され、その取り消しの日から3年を経過しない団体、又は他の助成制度においてこれに準ずる措置を受け、当該措置の日から3年を経過しない団体
4. 役員のうち次のいずれかに該当する者がいる団体
  - (1) 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しない者
  - (2) この法律の規定により罰金の刑に処され、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しない者

### ※注意点

上記事項を団体において確認した際の根拠資料（例えば、理事等からの提出を受けた誓約書等）がある場合は、当該資料を主たる事務所に10年間保存してください。

## 2 公正な事業実施について

当団体は、資金分配団体としての助成の申請を行うに際し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構が行う助成対象事業に関して、次のとおり確認します。

1. 資金分配団体に選定された後の当団体の役員構成が、以下の要件に該当し、助成対象事業の公正な実施に支障を及ぼすおそれがないこと。

- (1) 各理事について、当該理事及びその配偶者又は3親等内の親族等である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えないこと（監事についても同様）。
  - (2) 他の同一の団体の理事である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えないこと（監事についても同様）。
2. 当団体は、資金分配団体に選定された後において、社会的信用を維持する上でふさわしくない業務、又は公の秩序若しくは善良の風俗を害するおそれのある業務は行わないこと。
  3. 当団体が行政機関から受けた指導、命令等に対する措置の状況は、助成申請書に記載のとおりである。

**※注意点**

資金分配団体に選定された後に、上記確認事項に反する事実が判明した場合には、虚偽の申請があったものとみなされる可能性がありますのでご注意ください。また、上記事項を団体において確認した際の根拠資料（例えば、理事等からの提出を受けた誓約書等）がある場合は、当該資料を主たる事務所に10年間保存してください。

### 3 規程類の後日提出について（※通常枠のみ該当）

当団体は、資金分配団体としての助成を申請するに際し、規程類必須項目確認書で「内定後1週間以内に提出」を選択した必須項目については、やむを得ない理由により提出できないため、内定後1週間以内に提出することを誓約します。

### 4 情報公開について(情報公開同意書)

当団体は、一般財団法人日本民間公益活動連携機構が行う助成対象事業が「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（平成28年法律第101号）に基づき、この活動の資金が国民の資産であることから、「情報公開の徹底」及び「本制度全体の透明性の確保」等が求められていることを理解し、資金分配団体としての助成申請を行うに際し、その選定結果の如何を問わず、添付資料「選定結果・申請時提出書類の情報公開について」に基づき同機構のウェブサイトで公開されることを同意いたします。

なお、申請書類の提出にあたっては同機構の個人情報保護に関する基本方針に同意します。

## 選定結果・申請時提出書類の情報公開について

### 1. 情報公開の考え方

JANPIAでは、公募要領で明示しているとおり、採択・不採択に関わらずすべての選定申請団体の選定結果及び申請時提出書類（参考資料は除く）の情報公開を当機構ウェブサイトで行います。これはこの活動の原資が国民の資産であることに鑑み、「国民への説明責任」を果たすため、「情報開示の徹底」「本制度全体の透明性の確保」等が求められていることに応じるものです。

なお、情報公開にあたっては、書類の中にある個人情報や選定申請団体のアイデアやノウハウに係る部分について非公表とすること等により、選定申請団体の権利その他の正当な利益を損ねないように留意することとなっています。そのため選定結果通知後、すべての選定申請団体宛に情報公開予定の書類データについて申請の際に登録いただいたメールに送信し、公開内容を確認していただいた上、申請時提出書類を公開する予定です。

### 2. 公開する情報について

#### (1) 選定結果の公表

選定結果の公表に際しては、申請された情報に基づき、以下「選定結果の公表」での公表予定項目を当機構ウェブサイトに公表すること

「選定結果の公表」での公表予定項目

- 1 申請事業分類 \*通常枠のみ
- 2 事業名 主題
- 3 事業名 副題
- 4 団体名
- 5 事業対象地域
- 6 代表者名
- 7 所在地
- 8 社会課題
- 9 事業の概要
- 10 事業期間
- 11 決定助成額または申請助成額
- 12 審査コメント
- 13 助成額の根拠（「資金計画書等」「事業計画書」） ※選定団体のみ

#### (2) 申請時提出書類（参考資料を除く）の公開

選定結果公表後、以下「「申請時提出書類の公開」で公開予定の資料」を当機構ウェブサイトで公開すること

※この公開にあたっては、事前にすべての選定申請団体に情報公開予定の申請時提出書類について登録いただいたメールに送信し、内容をご確認いただきます。

申請時提出書類については、皆さまにご確認いただく段階で「印影」と「個人情報」と判断される情報について、JANPIA事務局で非公開の加工を行う予定です。それに加えて正当な利益が損なわれると判断されるような非公開とすべき情報<sup>※1</sup>がないか、ご確認をお願いします。また事務局で行った非公開加工が不必要の場合は、合わせてご指摘下さい。

非公開の箇所についてご確認いただくプロセスを経て、団体の皆さまにご了解が得られた書類を当機構ウェブサイトで公開します。

「申請時提出書類の公開」で公開予定の資料

- 1 助成申請書

- 2 団体情報
- 3 事業計画書
- 4 資金計画書等
- 5 役員名簿
- 6 申請書類チェックリスト
- 7 規程類必須項目確認書（規程類確認書）
- 8 定款
- 9 登記事項証明書（全部事項証明書）＊
- 10 事業報告書（過去3年分）＊
- 11 決算報告書類（過去3年分）※2・※3
- 12 規程類＊

以上に加え、コンソーシアムで申請の場合

- ・ コンソーシアムの実施体制表
- ・ コンソーシアムに関する誓約書
- ・ 幹事団体以外の各コンソーシアム構成団体についての「団体情報、定款、規程類、規程類確認書または規程類必須項目確認書、役員名簿、決算報告書類（提出があった場合のみ）※2・※3」

※1 統計データなど、すでに一般公開されている情報は非公開とする情報の対象になりません。

※2 通常枠のソーシャルビジネス形成支援事業とイノベーション企画支援事業については、「決算報告書類（過去3年分）」は参考資料とし、公開対象外となります。

※3 随時枠（コロナ等枠）は前年度分のみとなります。

＊は通常枠のみが対象となります。

以上

休眠預金活用事業 事業計画書

必須入力セル 任意入力セル

基本情報

資金分配団体	事業名 (主)	デジタル・スキル研修&就労支援を通じたシングルマザーのエンパワーメントと地域格差の解消		
	事業名 (副)	インパクト・ハイヤリング&ソーシングを活用したグラミン日本モデルの地方展開		
	団体名	一般社団法人グラミン日本	コンソーシアムの有無	なし
事業の種類1	③イノベーション企画支援事業			
事業の種類2				
事業の種類3				
事業の種類4				

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域/分野	
<input type="checkbox"/>	(1) 子ども及び若者の支援に係る活動
<input type="checkbox"/>	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
<input type="checkbox"/>	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
<input type="checkbox"/>	③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input type="checkbox"/>	⑨ その他
<input checked="" type="checkbox"/>	(2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
<input type="checkbox"/>	④ 働くことが困難な人への支援
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ 女性の経済的自立への支援
<input type="checkbox"/>	⑨ その他
<input checked="" type="checkbox"/>	(3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
<input type="checkbox"/>	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
<input type="checkbox"/>	⑨ その他
<input type="checkbox"/>	その他の解決すべき社会の課題

SDGsとの関連

ゴール	ターゲット	関連性の説明
5.ジェンダー平等を実現しよう	5.b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。	地方在住の生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対し、伴走支援、デジタルスキル研修及び就労支援を提供することで、シングルマザーの経済的、社会的、精神的自立を図ると共に、都市と地方の所得格差の解消を目指す
1.貧困をなくそう	1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。	同上
8.働きがいも経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	同上

1.団体の社会的役割

(1)団体の目的	193/200字
<p>シングルマザーを中心とした貧困その他生活に困窮する者を対象に、少額の貸付けその他の金融サービス（＝マイクロファイナンス）と、独自に開発した金融教育、ライフ・スキル研修、コーチング、カウンセリングなどの伴走支援を提供することを通じて、日本における格差・貧困の解消に貢献することを目的とする。利益最大化ではなく社会課題解決を目的とするユネス・ソーシャルビジネス7原則に基づき運営されている。</p>	
(2)団体の概要・活動・業務	192/200字
<p>ノーベル平和賞受賞のムハマド・ユヌス博士が設立したグラミン・ネットワークの日本法人として2017年に設立された。主要業務は、シングルマザーを中心とした生活困窮リスク層を対象としたマイクロファイナンス、伴走支援、スキル研修、起業・就労支援と、こうした支援手法の普及・啓発活動である。2022年5月にはでじたる女子活躍推進コンソーシアムを結成し地方在住女性の自立を支援する活動を開始した。</p>	

## II.事業概要

実施時期	(開始)	2023年10月1日	(終了)	2027年3月31日	対象地域	全国（首都圏を除く）
直接的対象グループ	首都圏を除く地方在住の、生活困窮リスクを抱えるシングルマザー				(人数)	500名～700名
最終受益者	上記シングルマザー本人とその家族				(人数)	1,000名～1,500名
事業概要	794/800字	<p>■全体像</p> <p>生活困窮リスクを抱えるシングルマザー支援団体を実行団体に採択して支援する。また実行団体と自治体・企業との広範なネットワーク形成を通じてシングルマザーに対する全国的なセイフティ・ネットの構築を目指す。</p> <p>■実行団体に期待する活動</p> <p>生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対する、(1) 家計管理などのライフ・スキル研修、(2) 就労に必要な社会人基礎力を高めるソフト・スキル研修、(3) デジタルを活用した起業・就労に必要なデジタル・スキル研修、(4) フリーランス起業家への業務受注支援や、就労希望者へのキャリア・カウンセリング・就労マッチング、(5) コミュニティ形成を通じた孤独・孤立解消とモチベーション向上等を含めた包括的支援を期待する。実行団体単独ですべてをカバーできない場合は、コレクティブ・インパクトの取り組みを奨励する。</p> <p>■非資金的支援</p> <p>グラミン日本は、(1) 独自の企業ネットワークを活用した実行団体のパートナー団体確保支援、(2) マイクロファイナンスやソーシャル・リクルーティング・プラットフォームの提供、(3) パートナー団体の専門スキルや広範な企業プロボノ・ネットワークを活用した、ガバナンス整備、人材育成、資金調達、IT活用、広報・マーケティング、ネットワーク形成などの分野における組織基盤構築支援を行う。</p> <p>■出口戦略</p> <p>支援期間終了後も実行団体が事業を継続できるよう、企業連携・ビジネスモデル構築・資金調達能力強化を中心とした支援を行う。</p> <p>■新規性</p> <p>(1) RPA、SAPなどの最新のデジタル技術の活用、(2) シングルマザーの自立に向けた包括的支援モデル、(3) インパクト・ハイヤリング／ソーシング（後述）を軸とした新たな企業CSVモデル、(4) 自治体PFS/SIBを活用した出口戦略、(5) 地域におけるコレクティブ・インパクトの展開、等を提案し、社会実装を目指している点。</p>				

### III.事業の背景・課題

(1)社会課題	996/1000字
<p>■日本の格差・貧困問題とシングルマザーの状況</p> <p>日本の格差・貧困問題は深刻度を増している。OECDによると、日本の貧困率はOECD加盟国41カ国中32位、貧困格差は同36位と低い。特にシングルマザーの状況は深刻で、厚生労働省によると、母子世帯全国123.2万世帯中、43.8%がパート・アルバイト等の非正規雇用に従事しており、平均年間就労収入はわずか200万円、世帯全員の収入を合わせても348万円に過ぎない。これは、児童のいる世帯の平均所得の49.2%という低い水準である。この状況は、近年の新型コロナウイルス感染拡大による雇止めや就業時間短縮、高騰するインフレによりさらに悪化していると推測される。</p> <p>■地域の所得格差</p> <p>また、地域間の所得格差も深刻である。内閣府によると、2019年度の県民所得1位の東京と最下位の沖縄との格差は2.4倍と大きな開きがある。地域間の格差も、関東地方と九州・沖縄地方との平均所得の差は1.46倍と深刻である。地方在住のシングルマザーの貧困は都市部に比べてさらに深刻だと思われる。</p> <p>■欧米の革新的な取り組み</p> <p>欧米諸国では、企業の雇用・アウトソーシングを通じて問題を解決するインパクト・ハイヤリングやインパクト・ソーシングと呼ばれる新たな試みが注目を集めている。これは、米国ロックフェラー財団が提唱したモデルで、大手IT企業が低所得・低スキル労働者を雇用したり、彼らを研修・雇用する企業・団体にアウトソーシングする事業である。米国では、低所得コミュニティの黒人女性やシングルマザーへのプログラミング研修を通じて生活水準を向上しようという団体が各地で活動している。欧州でも、SIBを活用して生活困窮者向けに同様の研修・就労支援を実施している団体があり、このモデルの妥当性は検証されている。</p> <p>■日本における革新の可能性</p> <p>日本でも、デジタル人材不足は深刻である。経済産業省によると、2030年時点で78.7万人のIT人材需給ギャップが発生するとされる。近年のリモート勤務の増加や政府のDX化推進により、デジタル化を担う人材不足はさらに拡大すると予想される。デジタル人材不足問題と、生活困窮リスク層の格差・貧困問題の双方を解決するソーシャル・イノベーションとして、デジタル・スキルを軸としたインパクト・ハイヤリング／ソーシング事業モデルを日本に導入することが求められる。</p>	
(2)課題に対する行政等による既存の取組み状況	187/200字
<p>厚生労働省が「ひとり親自立促進パッケージ」を通じて、就業相談から就業情報までを自治体窓口でワンストップで提供し、職業訓練期間中の給付金の支給や貸付金の提供なども行っている。しかし、高等職業訓練促進給付金は6ヶ月以上の訓練のみで短期の研修は対象としておらず、また研修の多くが看護師、保育士、介護福祉士、美容師などで、在宅勤務が可能なデジタル・スキル研修は少ないのが現状である。</p>	
(3)課題に対する申請団体の既存の取組状況	200/200字
<p>シングルマザーに対するマイクロファイナンス、伴走支援、デジタル・スキル研修、就労マッチングをパッケージで提供するプログラムを実施してきた。2021年度に資金分配団体として首都圏の4団体を対象にグラミン・パッケージを活用した支援を開始した。2022年度に、地方の女性自立を目的にデジタル女子推進コンソーシアムを設立し同様のパッケージを提供している。2023年よりNCR財団の資金で新規事業を立ち上げた。</p>	
(4)休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義	200/200字
<p>グラミン日本の支援モデルは、ワンパッケージ支援によりデジタル就労を通じた自立を目指す点で行政や他の支援団体と異なる独自性を持つ。2021年度資金分配団体事業で採用した4実行団体は順調にプロジェクトを進めており、これを踏まえて2023年度に同様のモデルを全国展開すれば、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーへの支援と困難に直面する地方支援の2つの課題において新たな支援モデルを確立することが期待できる。</p>	

IV.事業設計

(1)中長期アウトカム
事業終了後から5年後を目処に、(1) グラミン日本と同様のデジタル・スキル研修+就労支援パッケージを提供できる団体の全国ネットワークをグラミン日本主導で構築、(2) デジタル就労の受け皿企業を積極的に開拓し、民間企業の雇用・アウトソーシングを活用して生活困窮リスク層の自立を支援する「インパクト・ハイヤリング/ソーシング企業」ネットワークの構築、(3) 資金提供手法として、自治体における成果連動型資金提供 (PFS)の組成・活用の推進を行う。これにより、意志と意欲があれば、どのような境遇やバックグラウンドであっても、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーがデジタル起業・就労を通じて経済的、社会的、精神的自立を果たし、家族とともに豊かで幸せな生活を送ることが出来る社会を目指す。

(2)-1 短期アウトカム (資金支援)	100字	指標	100字	初期値/初期状態	100字	目標値/目標状態 (目標達成時期)
各実行団体が、3年間で100名以上の生活困窮リスクを抱えるシングルマザーを支援し、プログラム参加者が起業・就労・転職・副業等を通じた自分のライフスタイルに応じた収入改善を達成する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラム参加者数</li> <li>起業・就労数</li> <li>収入の改善度</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロ</li> <li>ゼロ</li> <li>プログラム参加時の収入水準</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>100名以上</li> <li>参加者の60%以上が起業・就労</li> <li>参加者の60%以上が20%以上の収入増 (プログラム終了時点)</li> </ul>
プログラム参加者が、プログラム参加を通じて経済的、社会的、精神的自立度を増し、自身と家族のウェルビーイングを向上させる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的、社会的、精神的自立の改善度</li> <li>自身と家族のウェルビーイングの改善度</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム参加時の自立度 (アンケート調査実施)</li> <li>プログラム参加時のウェルビーイング (アンケート調査実施)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自立度スコア20%以上改善</li> <li>ウェルビーイング・スコア20%以上改善 (プログラム終了後6ヶ月以内)</li> </ul>

(2)-2 短期アウトカム（非資金的支援）	100字	指標	100字	初期値/初期状態	100字	目標値/目標状態（目標達成時期）
各実行団体が、策定した組織基盤構築計画に沿って組織基盤を強化し、生活困窮リスク層に対するデジタルスキル研修&就労支援事業を自立的に提供できる体制を確立する。		各実行団体へのヒアリング・対話を踏まえて組織基盤構築計画を策定し、これに沿って初期値と目標値を決定		同左		組織基盤構築目標の70%以上達成 （プログラム終了時点）
各実行団体が、策定した出口戦略に沿って準備を行い、休眠預金資金支援終了後の事業の継続・発展に向けた体制を整備する。		各実行団体へのヒアリング・対話を踏まえて出口戦略を策定し、これに沿って初期値と目標値を決定		同左		出口戦略目標の70%以上達成 （プログラム終了時点）
インパクト・ハイヤリング/ソーシングを通じたシングルマザー支援が、日本企業のCSV手法の一つとして認知される。		各実行団体へのヒアリング・対話を踏まえて、プログラム参加者の雇用・発注の受け皿企業確保に向けた行動計画を策定し、これに沿って初期値と目標値を決定		同左		行動計画目標の70%以上達成 （プログラム終了時点）

(3)-1 活動(資金支援)		時期	
事業活動 0年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業実施準備</li> <li>⇒事務局立ち上げ、資金支援担当スタッフ委嘱、プロジェクト用HP開設 等</li> <li>■実行団体募集・審査準備、事前評価</li> <li>⇒募集要項作成、事業募集・広報協力団体の確保、外部審査委員の選定・委嘱 等</li> </ul>	2023年10月～2023年12月	99/200字
事業活動 1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実行団体募集・審査</li> <li>⇒募集開始、事前説明会開催、申請受付、審査、内定通知、契約締結、実行団体向け事前オリエンテーション、助成金支給 等</li> <li>■実行団体プロジェクト準備</li> <li>⇒実行団体は、プロジェクト事務局立ち上げ、具体的な支援・研修計画の策定、研修・支援プログラム参加者の募集・選定等を行う。必要に応じて、自団体のみでカバーできない支援メニューを補う連携・協働団体と、雇用・発注の受け皿企業の確保を図る。</li> <li>■実行団体によるデジタル・スキル研修・就労支援事業</li> <li>⇒実行団体は、それぞれのリソースと地域の実情に応じて、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対する伴走支援、ライフ・スキル研修、ソフト・スキル研修、デジタル・スキル研修及び就労支援を行う。同時に、雇用・発注の受け皿企業の更なる拡大のために、企業向け説明会の開催やマーケティングを行う。</li> </ul>	2024年1月～2024年3月  2024年4月～2024年9月  2024年10月～2025年3月	368/200字
事業活動 2年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実行団体によるデジタル・スキル研修・就労支援事業（継続）</li> <li>⇒実行団体は、1年目の活動を継続する</li> </ul>	2025年4月～2026年3月	48/200字
事業活動 3年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実行団体によるデジタル・スキル研修・就労支援事業（継続）</li> <li>⇒実行団体は2年目の活動を継続する。</li> <li>■出口戦略準備</li> <li>⇒実行団体は、支援終了後の持続可能性確保に向け、自治体による成果連動型資金提供（PFS）やSIB組成に向けた働きかけを開始する。また、グラミン日本や他の実行団体との連携・協力を通じて雇用・発注企業の安定的確保を図る。</li> </ul>	2026年4月～2027年3月	165/200字

(3)-2 活動(組織基盤強化・環境整備(非資金的支援))		時期
事業活動 0年目	<p>■事業実施準備 ⇒非資金的支援担当スタッフ委嘱、非資金的支援を担うプロボノ・チーム立ち上げ、非資金的支援メニューの整理 等</p> <p>■グラミン日本支援パッケージの準備 ⇒マイクロファイナンス、伴走支援、ソーシャル・リクルーティング・プラットフォームなど、グラミンが開発してきた支援パッケージを地方展開するための調整・体制整備 等</p>	160/200字
事業活動 1年目	<p>■組織基盤構築計画策定 ⇒実行団体ヒアリング、組織基盤構築計画作成（達成目標と成果指標の設定）</p> <p>■組織基盤構築支援開始 ⇒実行団体のニーズを踏まえ、ガバナンス整備、法人格取得・公益認定、資金調達、広報・マーケティング、IT化などを支援</p> <p>■グラミン日本モデルを通じた伴走支援 ⇒実行団体のニーズを踏まえ、グラミン日本の金融教育、ライフスキル支援、ソフトスキル支援、マイクロファイナンスなどを支援</p>	196/200字
事業活動 2年目	<p>■組織基盤構築支援（継続）</p> <p>■グラミン日本モデルを通じた伴走支援（継続）</p> <p>■出口戦略策定 ⇒実行団体ヒアリング、出口戦略策定（支援終了後の事業継続・発展計画とこれに必要な資金調達計画、体制整備。出口企業マッピング調査）。実行団体所在地の自治体に対し、SIB組成を含めた補助金・交付金の可能性を打診。</p>	149/200字
事業活動 3年目	<p>■組織基盤構築支援（継続）</p> <p>■グラミン日本モデルを通じた伴走支援（継続）</p> <p>■出口戦略に向けた側面支援 ⇒自治体連携を通じたPFS/SIB組成や補助金・交付金獲得を支援、企業マッチング、実行団体事業のマネタイズ手法検討支援 等</p> <p>■グラミン日本モデルの普及・啓発（公開シンポジウム開催、報告書公開等）</p>	148/200字

V.広報戦略および連携・対話戦略

<p>広報戦略</p>	<p>■一般向け ⇒グラミン日本の休眠預金資金事業専用ウェブサイト、Twitter、Instagram、LINEを通じてグラミン日本及び実行団体の情報を随時発信する</p> <p>■企業向け ⇒グラミン日本のB to Bサイトを通じて、企業向けに情報を発信し雇用・発注を中心とした協力企業の拡大を目指す</p> <p>■成果の普及 ⇒3年間の活動を通じた包括的支援モデルとインパクト・ハイヤリング/ソーシングの成果をセミナー等で発表する</p>	<p>201/200字</p>
<p>連携・対話戦略</p>	<p>■デジタル女子コンソシアムとの連携 ⇒パートナー企業と緊密に連携し実行団体が同様のモデルを各地域で立ち上げる可能性を検討する</p> <p>■地方自治体との連携 ⇒各自治体のひとり親支援プログラムとの連携を図ると共に、対話を通じてPFS/SIB組成の可能性を追求する</p> <p>■企業との連携 ⇒インパクト・ハイヤリング/ソーシング賛同企業の拡大に向け、経団連等の財界や地域の商工会議所等との連携を進める</p>	<p>190/200字</p>

VI.出口戦略・持続可能性について

<p>資金分配団体</p>	<p>■事業実施体制の整備 ⇒グラミン日本は今年設立5周年を迎え、事業基盤確立から成長・発展への移行期にある。スケールアップに備え、今後3年間で、グラミン日本の支援メソッドのマニュアル整備、支援員育成のためのオンライン講座拡充などを進める。</p> <p>■寄付受入体制の整備 ⇒グラミン日本はこれまで企業プロボノ支援と助成金を中心に運営してきたが、今後の安定した運営には寄付収入の拡大が不可欠である。今後3年間で、公益法人認定申請を行い寄付受入体制を整備すると共に、金融機関・企業に働きかけて公益信託・ポイント寄付等の受け皿機関指定を通じた寄付拡大を目指す。</p> <p>■出口戦略 ⇒休眠預金資金支援終了後もデジタル女子コンソシアムを継続し全国展開を進める。その上で、自治体補助金（PFSを含む）や公的機関・財団の助成金を追求し、確保出来た地域において、生活困窮リスク層に対するデジタル・スキル研修&amp;就労支援事業を継続する。また、収益事業の開発も行う。</p>	<p>412/400字</p>
<p>実行団体</p>	<p>実行団体の持続可能性確保に向けた出口戦略は、採択された実行団体の状況に応じて異なる。このため、具体的な内容は実行団体との対話を通じて策定する予定。現時点で想定している一般的な出口戦略の柱は以下の通り。</p> <p>■デジタル・スキル研修&amp;就労支援の内生化 ⇒各実行団体において、生活困窮リスク層の自立に求められる伴走支援からデジタル・スキル研修、就労支援をワンセットで提供できる体制を確立する（専門スタッフ育成、パートナー機関確保等）</p> <p>■資金調達体制の整備 ⇒非営利法人については、寄付・助成の拡大に向けた公益認定やグッドガバナンス認証の取得を支援する。また、グラミン日本のネットワークを通じた企業プロボノのマッチング支援を行う。営利法人については、支援終了後も生活困窮リスクを抱えるシングルマザーへの支援継続を担保するため、グラミン日本と連携しつつインパクト・ハイヤリング/ソーシングの出口企業確保を目指す。</p>	<p>399/400字</p>

## VII.関連する主な実績

(1)助成事業の実績と成果	722/800字
<p>■2021年度休眠預金資金活用事業の資金分配団体事業「シングルマザーのデジタル就労支援：互助グループ形成による仲間作りとデジタルスキル習得」が採択された。現在、本事業の1年目として、首都圏で活動する4実行団体（特定非営利活動法人1、非営利型一般社団法人1、株式会社2）が支援を開始している。本事業を通じて、3年間で合計300～500名の生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対して支援を提供することを目標としている。</p> <p>■2021年度事業の非資金的支援として、2022年10月から7ヶ月間に以下を実施した。アンケートでは、研修参加者の87%が研修内容を事業実施に活かせると肯定的な回答をしている。</p> <p>⇒シングルマザー支援協会による、各実行団体の支援担当者向けの集合研修（2回）</p> <p>⇒非資金的支援担当POによる、各実行団体の支援担当者向けのグラミンプログラム説明会（マイクロファイナンス、ソーシャル・リクルーティング・プラットフォーム等）（1回）</p> <p>⇒非資金的支援担当POによる、各実行団体の支援担当者向けの支援手法に関する集合研修（リードザ自分、支援者の心構え等）（2回）</p> <p>⇒組織基盤構築支援担当POによる、各実行団体へのヒアリングとこれに基づく出口戦略・組織基盤構築計画の策定（4実行団体で策定済み）</p> <p>⇒組織基盤構築に向けた企業プロボノによる研修（1回）</p> <p>⇒評価アドバイザーによる評価研修（3回）及び個別面談を通じた支援</p> <p>⇒ガバナンス・コンプライアンス構築支援（整備状況調査・ヒアリングをすべての実行団体で実施し、フィードバック済み）</p> <p>⇒実行団体と企業・支援団体・自治体との連携・マッチング支援（自治体との意見交換会1回、支援団体との情報交換会1回）</p>	
(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等	766/800字
<p>■企業連携</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SAPジャパン、MAIAと共にデジタル女子コンソシアムを設立し、デジタルスキル研修・就労支援を通じた地域における女性自立支援を行っている。</li><li>・SAPジャパン、日本シングルマザー支援協会と共に、ソーシャル・リクルーティング・プラットフォームを設立し、シングルマザーの雇用マッチング支援を行っている。</li></ul> <p>■調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アクセンチュアが2016年よりグローバルに推進しているインパクト・ハイヤリング（伝統的な人材調達／採用方法では見落とされていた社会的不利益層を対象に、職能訓練の先にある雇用までを支援する社会貢献活動）の調査研究活動を実施。この成果は、ソーシャル・リクルーティング・プラットフォーム設立に活用されている。</li><li>・2022年に、多摩大学社会的投資研究所の協力を得て、インパクト・ソーシング（社会的不利益層に対して職業訓練・雇用を提供する企業を対象に、大企業が積極的にアウトソーシングを行うこと支援する社会貢献活動）に関するグローバルな動向調査を実施。この成果は、デジタル女子コンソシアムの活動に活用されている。</li></ul> <p>■プロボノ受入</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グラミン日本は、設立以来、企業プロボノ支援を積極的に受け入れている。2023年4月現在、企業ボランティアとして9社47名のご協力を得ている。また、個人ボランティアも107名で、広報、マーケティング、経理、監査、プロジェクト・マネジメント、IT・システム管理など多様な事業分野で専門スキルを提供して頂いている。</li></ul> <p>■事業事例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2021年から2年間、REEP共創財団の「キャッシュ・フォー・ワーク（CFW）」事業の助成を受け、生活困窮リスクを抱えるシングルマザー支援に対するデジタルスキル研修・就労支援事業を実施した。2021年度は11名に支援、2022年度は32名を支援する予定である。</li></ul>	

### VIII. 実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数		
(2)実行団体のイメージ	生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対して、伴走支援、デジタルスキル研修、起業・就労支援を包括的に提供できる団体。以下のようなコレクティブ・インパクトの試みを優先する。 ・シングルマザー支援団体が、女性向けキャリア研修提供団体や就労支援団体と提携し包括支援を実施。 ・女性向けキャリア研修提供企業が、CSVとしてシングルマザー支援団体や女性専門人材紹介・派遣会社と連携し包括支援を実施。	194/200字
(3)1実行団体当り助成金額	■1実行団体あたり1000万円×3年間＝3000万円を想定。 ■主な助成費目 ⇒プログラム・マネジメント経費（人件費、運営費）、シングルマザー支援スタッフ経費（伴走支援、キャリア・カウンセリング等）、デジタルスキル研修受講費、プログラム参加者のための諸経費（パソコン貸出、モバイルWi-Fi提供等）、参加者募集・広報費、その他（通信費、打合せ経費、交通費等）	179/200字
(4)案件発掘の工夫	実行団体の募集にあたっては、グラミン日本のHP、SNS等の広報媒体を通じた情報発信だけでなく、以下のチャネルを通じてプログラムの周知を図る。 ■全国の県レベルのNPO中間支援団体や官民連携促進団体 ■シングルマザーサポート団体全国協議会や厚生労働省所管の母子家庭等就業・自立支援センターなどの全国ネットワーク ■各地のデジタル女子コンソシウムを通じた参加呼びかけ	181/200字

### IX. 事業実施体制

(1)コンソーシアム利用有無	なし	
(2)事業実施体制、メンバー構成と各メンバーの役割	■統括 [REDACTED] ■プログラム ⇒ [REDACTED]（理事、統括）、 [REDACTED]（理事、伴走支援）、 [REDACTED]（理事、自治体・企業連携）、PO（新規、グラント運営）、アシスタント（新規、事務局） ■運営管理 ⇒ [REDACTED]（理事長、統括）、 [REDACTED]（理事、ガバナンス・コンプライアンス）、 [REDACTED]（理事、経理）、事務局スタッフ（新規、運営管理業務） ■評価 ⇒ 評価アドバイザー1名委託予定	199/200字
(3)ガバナンス・コンプライアンス体制	■理事長の下に内部監査担当を置いて事業を監督すると共に、理事会にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスの確保に努めている。さらに監事を置いて、業務全体のガバナンス・コンプライアンスをチェックしている。 ■組織運営に必要な理事会運営規則、社員総会運営規則、運営規則、内部監査規程、役員報酬規程、情報公開規程、及びコンプライアンス規程、利益相反防止規程、倫理規程等は整備されている。	194/200字

申請団体	資金分配団体	
事業期間	2023.10.1 ~ 2027.3.31	
資金分配団体	事業名	デジタル・スキル研修&就労支援を通じたシングルマザーのエンパワメント
	団体名	一般社団法人グラミン日本

	合計		
		助成金	自己資金・民間資金
事業費	223,605,000	211,740,000	11,865,000
実行団体への助成	180,000,000	180,000,000	0
管理的経費	43,605,000	31,740,000	11,865,000
プログラムオフィサー関連経費	28,000,000	28,000,000	-
評価関連経費	19,550,000	19,550,000	-
資金分配団体	10,550,000	10,550,000	-
実行団体用	9,000,000	9,000,000	-
合計	271,155,000	259,290,000	11,865,000

資金計画書資料 ①調達の概要

1. 事業費（助成金、自己資金・民間資金）

[円]

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	合計
助成金 (A)	4,694,000	69,002,000	69,002,000	69,042,000	211,740,000
実行団体への助成	0	60,000,000	60,000,000	60,000,000	180,000,000
-					
管理的経費	4,694,000	9,002,000	9,002,000	9,042,000	31,740,000
自己資金・民間資金 (B)	1,695,000	3,390,000	3,390,000	3,390,000	11,865,000
実行団体への助成	0	0	0	0	0
管理的経費	1,695,000	3,390,000	3,390,000	3,390,000	11,865,000
合計 (A+B)	6,389,000	72,392,000	72,392,000	72,432,000	223,605,000
実行団体への助成	0	60,000,000	60,000,000	60,000,000	180,000,000
管理的経費	6,389,000	12,392,000	12,392,000	12,432,000	43,605,000
補助率 (A/(A+B))	73.5%	95.3%	95.3%	95.3%	94.7%

2. プログラム・オフィサー関連経費（助成金）

[円]

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	合計
プログラム・オフィサー関連経費 (C)	6,000,000	6,280,000	7,880,000	7,840,000	28,000,000
プログラム・オフィサー人件費等	4,800,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	19,800,000
その他経費	1,200,000	1,280,000	2,880,000	2,840,000	8,200,000

3. 評価関連経費（助成金）

[円]

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	合計
評価関連経費 (D)	1,080,000	4,680,000	4,830,000	8,960,000	19,550,000
資金分配団体	1,080,000	1,680,000	1,830,000	5,960,000	10,550,000
実行団体用		3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000

4. 合計

[円]

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	合計
助成金計(A+C+D)	11,774,000	79,962,000	81,712,000	85,842,000	259,290,000
総事業費(A+B+C+D)	13,469,000	83,352,000	85,102,000	89,232,000	271,155,000





## 申請書類チェックリスト

事業名：	デジタル・スキル研修&就労支援を通じたシングルマザーのエンパワーメントと地域格差の解消
団体名：	一般社団法人グラミン日本

**<留意点>**

・申請書類を提出する前に必ず本チェックリストを使って提出書類が揃っているか確認してください。  
 本チェックリストも申請書類と合わせて提出してください。  
 ・本申請チェックリストは事業ごとにご提出ください。なお、2事業目は、「団体ごとに提出する申請書類」の記載は不要です。  
 「申請事業ごとに提出する書類」のみ記載してください。

※通常枠では、申請団体は、4つの助成事業のうち、同一事業区分の中では1事業まで、異なる事業区分間では合計2事業まで申請できます。  
 なお、災害支援事業については、防災・減災支援、緊急災害支援、災害復旧・生活再建支援については組み合わせでの申請も可能とし、この場合は1事業として申請してください。

申請事業ごとに提出する申請書類	公募システム添付先	提出する書類	提出形式	通常枠	チェック	備考	
		助成申請書	様式01 助成申請書	PDF	●	添付済み	※書式厳守（登録印の押印が必要）
		事業計画書	様式02 事業計画書	Excel	●	添付済み	※書式厳守
		資金計画書等	様式03 資金計画書等	Excel	●	添付済み	※書式厳守
		申請書類チェックリスト	様式04 申請書類チェックリスト※本紙	Excel	●	添付済み	※書式厳守
		事業設計図補足資料	事業設計図補足資料	PDF	任意	添付済み	
		その他（計画の別添等）				添付済み	※団体パンフレットや広報誌等、参考となる資料があれば提出してください。 ※「提出する書類」の欄に提出する書類名を入力してください。 ※欄が足りない場合は行を追加してください。
	団体ごとに提出する申請書類 ※複数事業申請の場合、2事業目は記入不要	団体情報	様式05 団体情報	Excel	●	添付済み	※書式厳守
役員名簿		様式06 役員名簿	Excel	●	添付済み	※書式厳守 ※役員名簿にはパスワードをかけ、パスワードはJANPIA WEBサイトから指定のフォームでJANPIAに送ってください。（詳細は、JANPIA WEBサイト申請ページをご確認ください。） ※過去資金分配団体に採択された団体で、最新の書類を提出済みの団体は提出不要です。	
規程類必須項目確認書		様式07 規程類必須項目確認書	Excel	●	添付済み	※書式厳守	
定款		定款	PDF	●	添付済み		
規程類		規程類	PDF	●	該当しない	※該当する規程類が添付できていることを確認し、チェックしてください。 ※過去通常枠で資金分配団体（またはコンソーシアム構成団体）として採択されている団体は、「規程類必須項目確認書」の提出のみとし、規程類の提出は不要です。ただし、内容等に変更が生じている場合は該当部分のみ提出をお願いします。	
登記事項証明書		登記事項証明書(全部事項証明書)	PDF	●	添付済み	※発行日から3ヶ月以内の全部事項証明書の写しをご提出ください。	
事業報告書（過去3年分）		事業報告書	PDF	●	添付済み	※設立から3年未満の団体においては、提出可能な期間分について提出ください。	
決算報告書類（過去3年分）		貸借対照表		PDF	●	添付済み	※設立から3年未満の団体においては、提出可能な期間分について提出ください。 ※随時枠の場合は前年度分のみ提出ください。 ◎キャッシュ・フロー計算書、附属明細書、財産目録及び収支決算書については、作成している場合は提出してください。監事及び会計監査人による監査報告書は監査を受けている場合提出してください。 ※ソーシャルビジネス形成支援事業とイノベーション企画支援事業については、「決算報告書類（過去3年分）」を参考書類として提出していただきます。
		損益計算書(活動計算書、正味財産増減計算書、収支計算書等)		PDF	●	添付済み	
		キャッシュ・フロー計算書◎		PDF	●	該当しない	
	附属明細書◎		PDF	●	該当しない		
	財産目録◎		PDF	●	該当しない		
	収支決算書◎		PDF	●	該当しない		
監事及び会計監査人による監査報告書◎		PDF	●	添付済み			

※コンソーシアムで申請の場合には、幹事団体は以下書類もご提出ください。

申請事業ごとに提出する申請書類						
申請事業ごとに提出する申請書類	コンソーシアム関連書類 (申請事業ごと)	コンソーシアムの実施体制表	PDF	●		
		様式C01 コンソーシアムに関する誓約書	PDF	●	※書式厳守	
幹事団体以外の各コンソーシアム構成団体分の書類	団体情報	様式05 団体情報	Excel	●		
	役員名簿	様式06 役員名簿	Excel	●		
	規程類必須項目確認書	様式07 規程類必須項目確認書	Excel	●	※該当資料の上記【備考】をご確認ください。	
	定款	定款	PDF	●		
	規程類	規程類	PDF	●		
	決算報告書類（過去3年分）	貸借対照表		PDF	●	
		損益計算書(活動計算書、正味財産増減計算書、収支計算書等)		PDF	●	
		キャッシュ・フロー計算書◎		PDF	●	
		附属明細書◎		PDF	●	※該当資料の上記【備考】をご確認ください。 ※申請時点で非幹事団体として決定している場合、非幹事団体分をご提出ください。
		財産目録◎		PDF	●	
収支決算書◎			PDF	●		
	監事及び会計監査人による監査報告書◎		PDF	●		

貧困のない、  
誰もが生き活きと  
生きられる社会へ



# 一般社団法人 グラミン日本 第4期 事業報告書



GRAMEEN  
NIPPON

# contents

- P2 グラミン日本が目指す社会
- P3-4 グラミン日本が考える、「貧困問題」への取り組み
- P5-6 互助グループを支えるコレクティブインパクトによる自立支援

## 《融資事業》

- P7-8 マイクロファイナンスについて
- P9-10 起業者の声

## 《支援活動》

- P11 グラミン日本へのご支援について
- P12 [連携] ・明治大学のゼミでのソーシャルビジネスプログラム
- P13 ・船橋市での取り組み
- P14 ・みんな電力×グラミン日本による「グラミンでんき」
- P15 ・「のわみ相談所」および「NPO法人わっぱの会」と  
共同で起業・就労支援活動を実施(愛知県)
- P16 ・コロナ禍で困窮する若者・ひとり親の経済的自立支援の  
強化へREADYFORでのクラウドファンディングを開始
  
- P17-18 [資金] 資金面での支援について
- P19-20 支援者・支援企業一覧
  
- P21-24 [参加] サポーターの声
- P25-26 企業プロボノの声
  
- P27 第4期(2020年9月期) 財務状況
- P28 メディア掲載情報
- P29 沿革
- P30 会社概要
- P31-32 グラミンとは?
- P33 理事長ごあいさつ



# 貧困のない、 誰もが生き活きと 生きられる社会へ

私たちは、働く場所があるということが真の意味で人を貧しさから救う、  
そして融資資金はそのための種(シード)になると考えています。

グラミン日本は、開発途上国のみならず、  
欧米先進国でも貧困削減に効果を発揮しているグラミン銀行の日本版で、  
日本の実態にあった方法で運営しています。

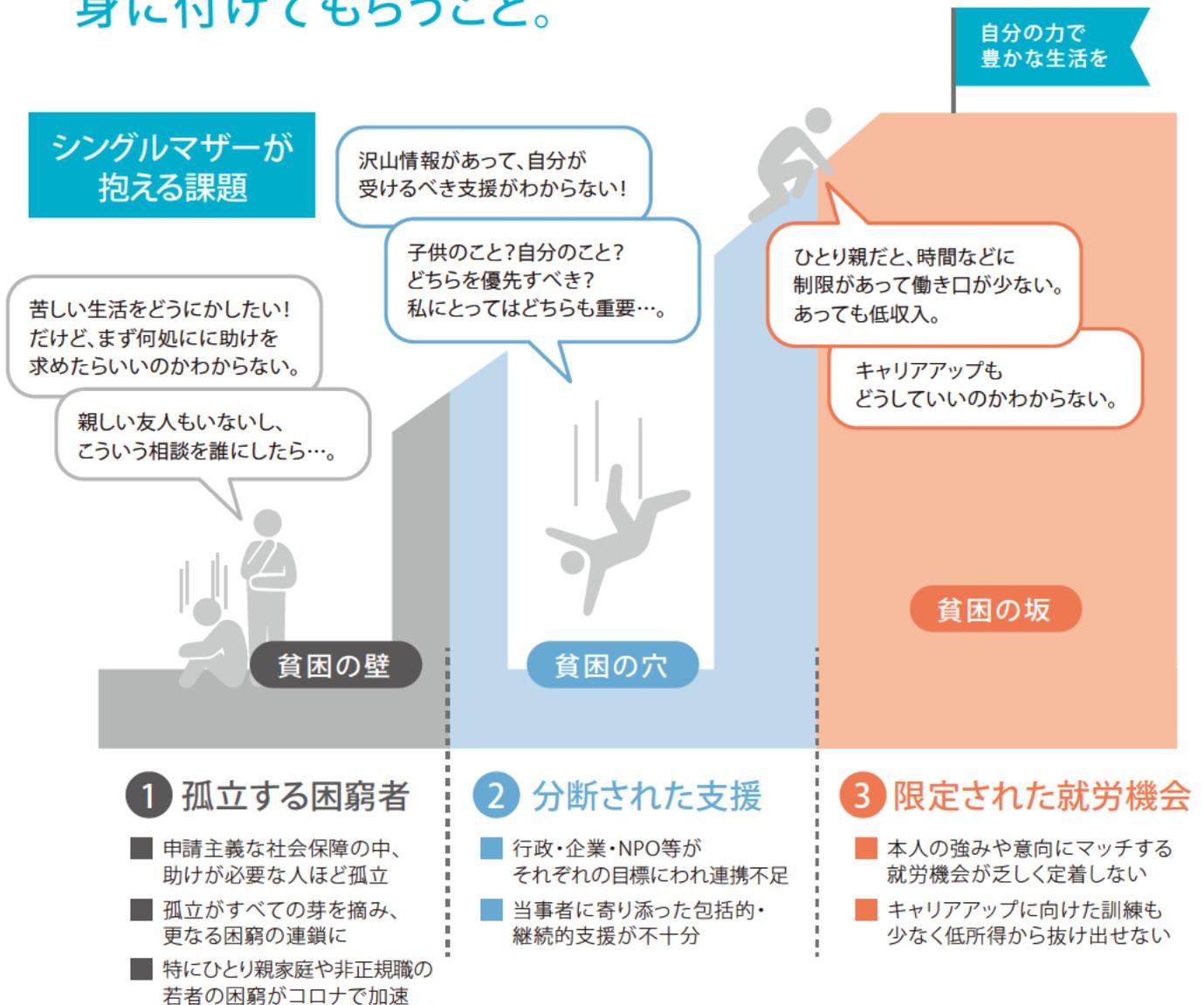
貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会をつくりたい、それが私たちの想いです。

## グラミン日本が目指す社会

- 1 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット／ソフトインフラとして整備されている社会
- 2 生業的な起業(プチ起業/小商い)が普通にできる社会
- 3 Job SeekerよりJob Creatorが活躍できる社会
- 4 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- 5 ユネス・ソーシャルビジネス7原則(\*)が実践される社会
- 6 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

# グラミン日本が考える、「貧困問題」への取り組み。

単なる「お金の支援」ではなく、大切なことは、  
貧困から「持続的」に抜け出す力を  
身に付けてもらうこと。

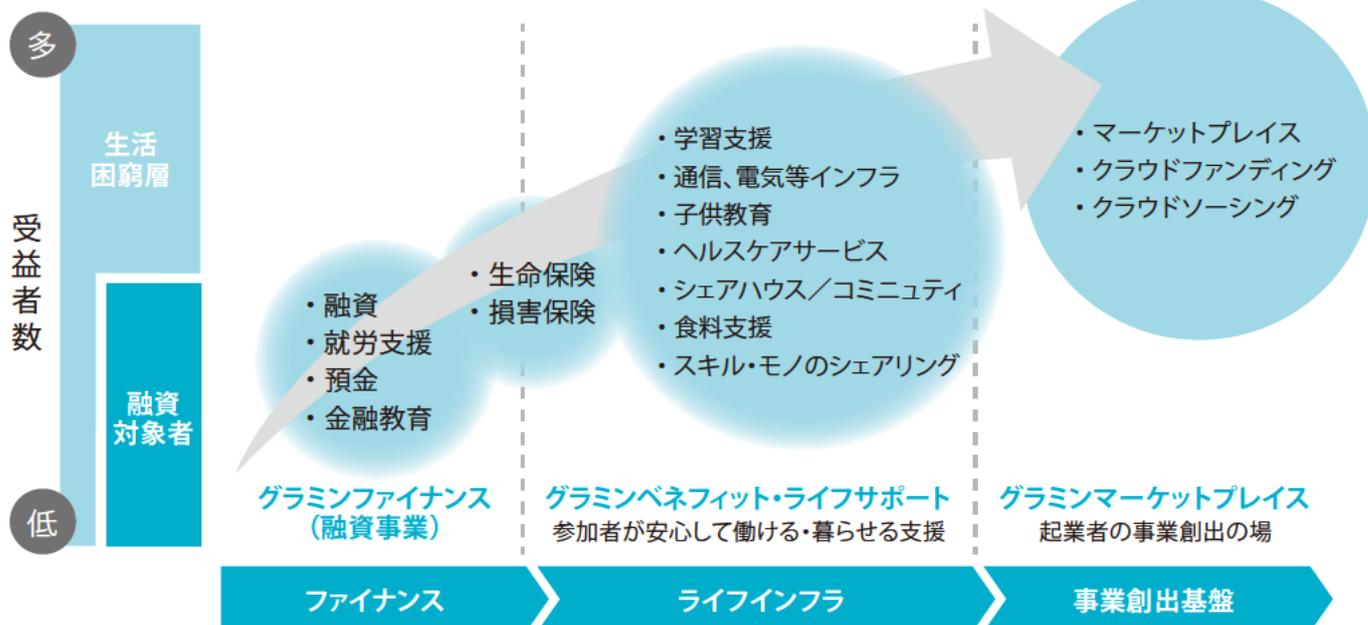


**ワンストップで「自力」をサポート!  
それが、グラミン日本の目指す支援。**

# グラミン日本が描くエコシステム



## [ロードマップ]



グラミン日本の提供価値の進化

# 互助グループを支える コレクティブインパクト<sup>※1</sup>による 自立支援。

## 課題

マイクロファイナンス<sup>※2</sup>をフックに、5人一組の互助グループを形成し、金融教育や社会的資本の補完に向けた当事者コミュニティを形成・維持

### マイクロファイナンス

5人一組の互助グループ  
形成を通じた金銭的・  
社会的資本の付与・金融教育

デジタル関連のスキルアップトレーニングや、  
就労に向けたマッチングシステムを活用したキャリアアップの実現

### 直接支援

#### カウンセリング

裨益者に寄り添った面談・コミュニティ形成

#### トレーニング

次世代を見据えたデジタル関連訓練

#### マッチング

グラミン日本ならではの、強みを活かせる多様な就労機会の提供

ビッグデータを活用したインパクトの分析・評価やデータに基づく  
アドボカシー（世論形成）、ソーシャルインパクトボンド<sup>※3</sup>組成等を行い、直接支援を強化

### 間接支援

#### 指標の測定と効果の評価

ビッグデータやAIを活用した互助グループ・支援エコシステムの分析・改善

#### 情報発信と世論喚起

マルチメディアを活用したコレクティブインパクトに向けたシステム全体との対話

#### ソーシャルビジネスに適した資金調達

ソーシャルインパクトボンドなどを活用した成果重視かつ持続可能な財源確保

※1 企業とNPO、行政などが共通の目標を設定し連携して課題解決に当たるアプローチのこと

※2 貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行うこと。

※3 民間団体が投資家から調達した資金をもとに公共サービスを提供し、その成果に応じて政府や自治体から報酬が支払われて投資収益に反映されるスキームのこと

## マイクロファイナンス

目的	活動内容	協業パートナー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 互助グループ形成による孤立化の防止</li> <li>● 金融サービスへのアクセス機会の改善</li> </ul>	<input type="checkbox"/> マイクロファイナンスをフックに、5人1組の互助グループを形成し社会的資本を補完 <input type="checkbox"/> お金の使い方や起業に向けた金融教育も提供 <input type="checkbox"/> 互助グループの繋がりにより、行政やNPOの支援から漏れてしまう困窮者にもリーチ <input type="checkbox"/> 互助グループを超えて裨益者同士が繋がり、相互に支え合えるコミュニティにも発展	<b>SMBC日興証券株式会社</b> 金融包摂の強化  <b>Septeni Japan株式会社</b> SNSを通じた裨益者とのコミュニケーション強化  <b>アクセンチュア株式会社</b> チャットボット等を活用した裨益者とのコミュニケーション強化

## マッチング

## トレーニング

## カウンセリング

マッチングプラットフォームを活用したキャリアアップを、ワンストップで実現していく

目的	活動内容	協業パートナー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己肯定感・効力感の向上</li> <li>● スキルアップによる起業・就労機会の拡大</li> <li>● 仕事の定着・所得の向上</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 裨益者の強みや意向に沿った多様な働き方の提供と人材マッチング支援	<b>デロイトトーマツコンサルティング合同会社</b> RPA*1等のデジタル関連トレーニングの設計  <b>SAPジャパン株式会社</b> 人財マッチングプラットフォームの提供 (SAP Fieldglass)  <b>ランサーズ</b> 人財マッチングプラットフォームの提供 (SAP Fieldglass)

\*1: Robotic Process Automation (業務自動化ソフトウェア) の略。

## 指標の測定と効果の評価

## 情報発信と世論喚起

## インパクト重視の資金調達

目的	活動内容	協業パートナー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進捗・成果の見える化</li> <li>● 強固な地域エコシステムの構築</li> <li>● 持続可能な財源確保</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 人財マッチングプラットフォーム上に蓄積された互助グループや支援エコシステムのデータを基に、進捗・成果をモニタリング・評価 <input type="checkbox"/> データを基に困窮者の自立に向けたNPOや企業、自治体等の対話の場を設け、地域の多様な働き方に対するメンタルモデルの変容を促進 <input type="checkbox"/> ソーシャルインパクトボンドなどを通じて、成果重視のマルチセクター連携を強化し、持続可能な財源を確保 <small>※休眠預金資金を活用し支援プログラムを構築し、それらを基に行政とSIBの成功事例も事業期間内に創出を企図</small>	<b>SAPジャパン株式会社</b> ビッグデータの基盤構築・AIを用いたアナリティクス  <b>PwC</b> コレクティブインパクトの牽引  <b>デロイトトーマツコンサルティング合同会社</b> ソーシャルインパクトボンドの組成・インパクト評価

# 《融資事業》

## マイクロファイナンスについて

生活が困窮している状態では、今を生きることには焦点があたり、**将来の生活向上につながる行動が不十分**となりがちです。

既存の支援制度も当面の生活支援に主眼が置かれ、自立支援の取り組みも十分には行き届いていないのが現状です。

### マイクロファイナンスとは

貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行い、こうした方々が起業や就労によって貧困や生活困窮から脱却し自立するのを支援します。

### 支援の流れ

グラミン日本では、働く意欲はあっても今はお金がない方々に、自立のための**少額の融資と就労機会・起業支援をワンストップ**で提供いたします。



#### 1 問い合わせ・説明会予約

「お申込みフォーム」より、説明会の予約



#### 2 説明会参加

グラミンのプログラム説明・意見交換



#### 3 グループ形成 (仮申込)

5人一組の互助グループを形成 / 仮申込の実地



#### 4 金融トレーニング (5日間)

グラミンのルール・金融知識を取得



#### 5 家庭訪問

グラミンスタッフがご家庭を訪問



#### 6 認証式 (預金口座開設)

インタビュー形式でテストし、認証 → 預金口座開設



#### 7 【センターミーティング】借入申込・承認

借入内容を検討、協議、申請



#### 8 【センターミーティング】融資実行

融資の実行  
※内容によっては、再協議



#### 9 【センターミーティング】資金使途の確認

資金の利用状況を相互に確認



#### 10 【センターミーティング】返済・フォローアップ

返済開始、貯蓄、事業の相談など



#### 11 就労機会・起業支援

就労先の紹介、経営サポート

## メンバーとなる条件

### ● 現在の収入が一定ライン(※)以下の方

※生活保護基準の1.8倍以内が目安。地域や世帯構成によって異なります。

### ● 5人一組のグループで互いに信頼しあい、助け合うことができる方

5人一組の互助グループは、グラミン・メンバーの基本単位です。互いに監視することが目的ではなく、信頼関係に基づいて仲間と一緒に支えあって頑張っていくコミュニティです。

### ● 規律を守れる方。

センターミーティング(5人一組のグループの会合)に参加できる方

## プチ起業を目指す方へのワークショップ

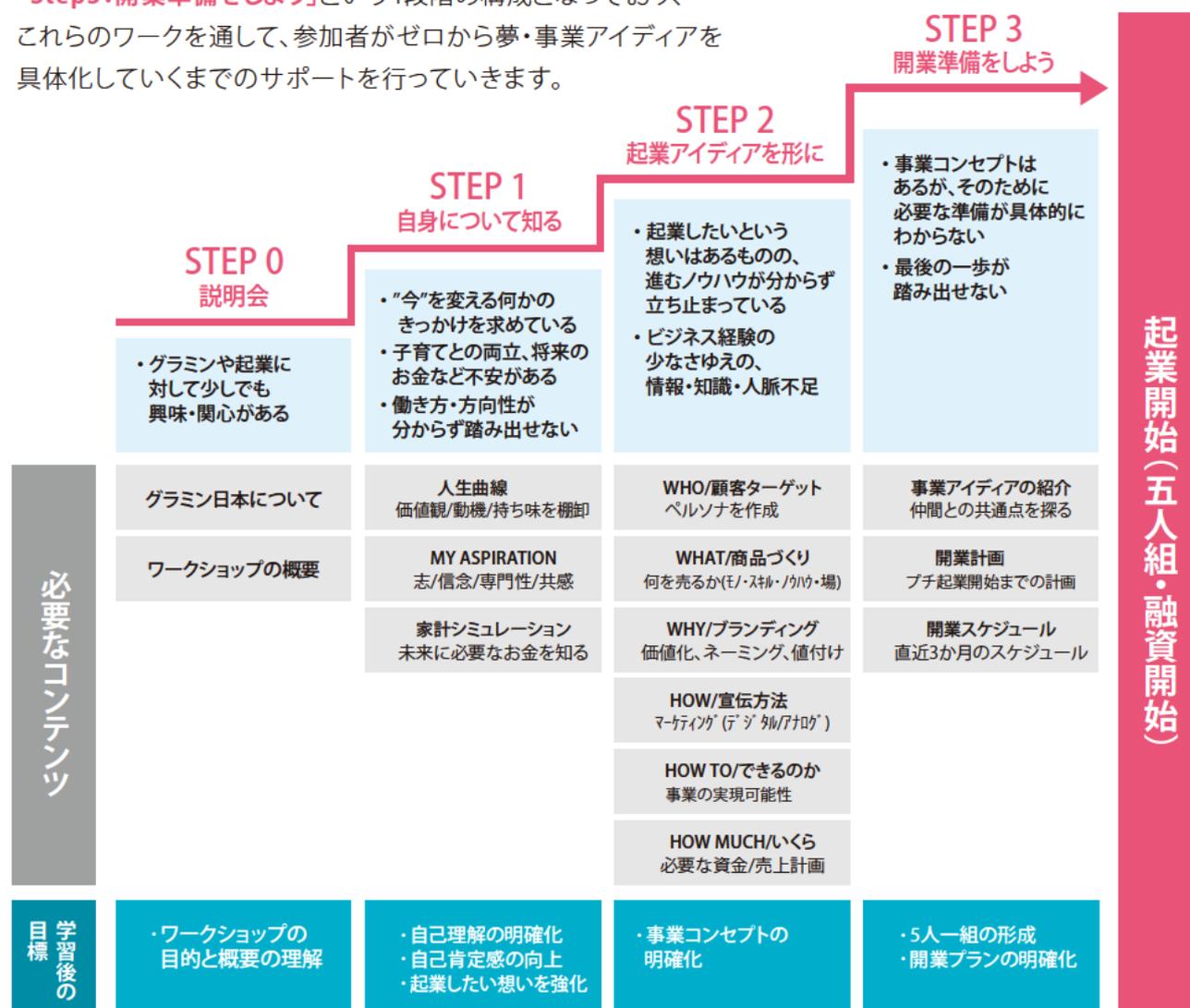
グラミン日本では、アクセンチュア、SMBC日興証券と共に、

プチ起業を目指す方向けの起業を目指す方へのワークショップを企画・実施しました。

ワークショップは「Step0:説明会」をはじめ、「Step1:自身について知る」、「Step2:起業アイデアを形に」

「Step3:開業準備をしよう」という4段階の構成となっており、

これらのワークを通して、参加者がゼロから夢・事業アイデアを具体化していくまでのサポートを行っていきます。



# 《融資事業》 起業者の声



「働き続ける」という選択がある

せやさん 55歳

仕事・老後・将来の事など不安がたくさんあり日本シングルマザー支援協会に相談した際、グラミン日本を紹介されました。

これまでは、個人事業主といえどお金のことはまるつきり苦手で向き合ってきませんでした。グラミンの金融教育を通じてお金の大切さや学べる楽しさを知りました。周囲からのフィードバックや評価で自信もつき、スキルの掘り起こしにもつながりました。参加することに気持ちも成長して、自分で判断する力が身に付きました。

自信を持つ。自分のこれからする事に信念を持つ。これが、今の私が大切にしている価値観です。この機会がなかったら、私は埋もれたままでした。引き上げてくれて、ありがとうございます。

美容と健康関連の仕事に長年携わってきました。現在は幹細胞・プラセンタ化粧品のオリジナルブランドの販売とヘッドリラクゼーションを取り扱っています。自分でも簡単に癒しができる「おでこセラピー」も手がけようと考えています。



一緒に考えてくれる人がいる安心感

遠藤 ひろみさん 46歳

個人事業主としてイラストを描く仕事をしていましたが、何年もやっているのに利益が出ていない働き方でした。離婚が決まり、イラスト事業では食べていけないのではとシングルマザー支援協会に相談したところ、グラミン日本への参加を勧めいただきました。

グラミン日本のイベントに参加して金融トレーニングや事業運営について勉強しているうちに、自分でも出来るんじゃないかと勇気が湧いてきて、自然とメンバーになっていました。一人になるとくじけそうな時もありますが、励まし合える仲間と、相談できるミーティングの場が心強いです。

グラミンの活動は私自身が変わるきっかけになり、本当にありがたいと思っています。自分の事業が形になる

ようにまだまだ頑張ります。

亡くなった時に飾るご遺影のイラストサービス「遺し絵」をしています。

イラストを提供するというよりも、見る人の心が癒されることに重きを置いた「イラストのセラピー」です。遺影の写真飾るのは、故人の顔を悲しくて辛くて見ることができないというご家族の方から似顔絵を描いてほしいという依頼で始めました。

ご遺族の方は、故人の方をイラストにすることで柔らかい印象で向き合うことが出来ますし、終活中の方は自分の似顔絵と向き合うことでモチベーションが上がって自己肯定感を高めてもらうことが出来ます。



## 偏見のない環境だから 進むことができた

Nさん 41歳

以前からユヌスさんやグラミン銀行の存在は知っており興味がありました。子供を産みシングルマザーになってからは、起業塾や経営セミナーのような場所に行くことすら怖くなり、シングルマザーの起業など理解されなかった事もあり諦めていました。

そんな時、日本シングルマザー支援協会経由でグラミンが日本にもあることを知り感激し、サポートを受けたいと思いました。子供連れでの参加もむしろ歓迎され、他のお子さんが面倒を見てくれたりして私も

集中して参加することが出来、こんな場があるんだと嬉しくなりました。メンバー同士で自分にはない知識やアイデアを出し合え、子育てや仕事などでメンタル不調になった時も、励まし合えているので、みんなに出会えて良かったです。

シングルマザーでも、このような機会に出会えた事、恵まれた事、感謝しております。

外国の方向けに、日本の伝統着物である色打掛の販売・着付け・写真・ビデオ撮影などを提供しています。



## 良い意味で現実を見ました

金子 龍太さん 21歳

私は2019年の夏に起業を決意したときに、やりたいことは決まっても何をしたいかわからず、何度もとん挫していた時にグラミン日本に出会いました。

実際にグラミン日本の研修に参加すると、どうプロダクトや事業を磨いていくのかに視点を置いて利益度外視で親身になって相談に乗ってくださりました。単なるノウハウではなく、実務ベースで多くのことを学

べ、良い意味で現実を見ました。

現在は「OSUSOWAKE」という親から子に規格外野菜を安価で仕送るサービスを立ち上げ中で、4人の仲間と事業の準備を進めています。

夢を追う人は周りから否定されることもあると思いますが、夢を実現するために、グラミン日本の活動に飛び込んでみてもいいと思います！



## 仲間との出逢いが、 頑張れる源に

岡 春翔さん 20歳

やりたいビジネスがあっても何から始めればいいのかわからない状態で、グラミン日本の皆さんは知識を教えてくれるだけでなく、ついた知識をより実践的に使う方法を教えてくださいました。グラミン日本の研修に参加して一番感じたのは、自分のやりたいことを認め、リスペクトしてくれ、決して否定しない人たちがい

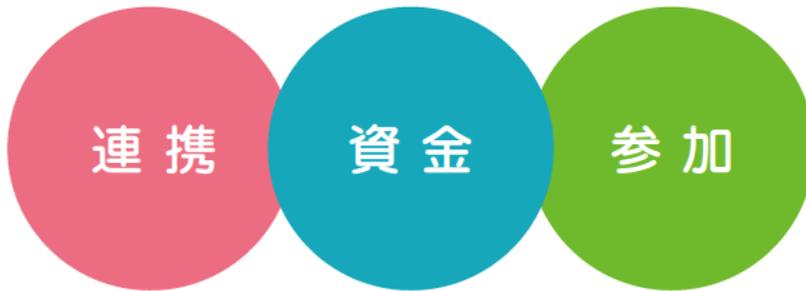
るということでした。そんな仲間と出会えたことがすごく嬉しいですし、私が頑張れる源になっています！

現在は「AIOON」という環境に配慮したオーガニックコットン素材のファッションブランドを立ち上げ中です。今の私ができるのは、グラミン日本の本気のサポートに本気で応えて進むことだと思っています！

# 《支援活動》

## グラミン日本へのご支援について

### グラミン日本の3方向への支援活動



## 連携する

生活困窮者や子供の貧困などの状況を把握し支援をされている団体や自治体と情報共有し、企業のノウハウやリソースも活用しながら、グラミン日本を触媒としてコレクティブインパクトのアプローチで問題解決に向けて真摯に向き合い、より効果的な実施を実現したいと考えています。

### 目指す姿

支援企業等との連携による生活困窮者の自立支援を持続させる仕組みの構築

		会員のニーズ	グラミンの貢献	
創出 新規事業	<b>A</b> ソーシャルビジネス協創	SDGsのトレンドも踏まえ 新規事業を創出し、貧困層の活躍機会を拡大したい	現場ニーズの把握、NPO やSDGs に関心のある企業等 多様なパートナーとの連携推進	
	<b>B</b> インクルージョン&ダイバーシティ促進	ダイバーシティ人材提供	人材不足の領域を活用して、多様な人材に 労働機会を提供したい	グラミンプログラムへの参加者を労働者として派遣
		I&D推進人材育成	自社社員にダイバーシティ&インクルージョンを経験させたい	融資事業・ソーシャルビジネス実践の場を通じた人材育成機会の提供
既存事業強化	<b>C</b> SDGs 対応ブランド強化	貧困問題解決に通ずる価値観・自社理念を発信したい	ノーベル平和賞受賞等により 貧困脱却の分野でトップの知名度を持つブランドの活用	

## 明治大学のゼミでのソーシャルビジネスプログラム

グラミン日本は明治大学の小川ゼミナールと協力し、約4カ月にわたり、ソーシャル・ビジネス・プログラムとして貧困の実態調査およびグラミン日本の事業戦略立案を実施しました。本プログラムには明治大学小川ゼミナールの学生のみなさんが参加し、このプログラムを通して学生の方々はゼミナールで得たマーケティングの知識や手法を実践に移す機会を得ることができました。

### 主な活動内容は、

- グラミン日本の下調べ
- 貧困の実態調査から当事者である貧困層へのヒアリング
- 支援ターゲットとなる人材のペルソナ策定およびペルソナ別の事業施策を立案
- グラミン日本理事長の百野への最終プレゼン

初期調査では2000万人と言われている日本の貧困層の内訳を明らかにするためにリサーチを実施し、当事者へのヒアリングではNPO団体主催の学会に参加したり、貧困層支援団体での当事者へのインタビューを実施。ヒアリング後はインタビューや実態調査の結果をもとに、支援ターゲットとなる5つのペルソナを策定しました。最終的にはペルソナ毎に

最適な事業支援内容を立案し、事業展開ロードマップを策定した上で理事長の百野にプレゼンを行ったという学生のみなさん。小川ゼミ独自の視点で日本の貧困問題の構造を考察することができたことと、ヒアリング・調査⇒課題抽出⇒ペルソナ策定⇒事業戦略立案⇒プレゼンという、一連のマーケティング手法を実践の場で活用することができたのは大きな成果だったと話されていました。

ゼミのメンバーである折戸さんは「グラミン日本様とのプロジェクトを通じて、貧困に対する意識の変化、企画やプロジェクトの進め方を把握する足掛かりを作る事が出来たと考えています」と話されており、「正直自分は一般的な「貧困」とは遠いところで生活をしてきました。いつもニュースや論文などで貧困について問題提起が為されても、なんとなく他人事の様な気がしていました。しかしプロジェクトを進める中で「貧困」と一口に言っても捉え方は様々で、更に様々な方にヒアリングを行う中で、貧困は身近に存在している事を実感し、より当事者意識を持って問題意識を持つ事ができる様になったと考えています」と本プログラムを振り返っています。

グラミン日本は今後も教育現場と連携しながら、ソーシャル・ビジネスに若者が触れる機会を創出することに力を入れていきます。



## 船橋市での取り組み

グラミン日本は、船橋市と共にシングルマザーや若年者の生活困窮などを解決していくための仕組みづくりを検討しています。具体的には、市場カフェをはじめとした市内の「場」を活用してコミュニティの中に埋れている「課題」を洗い出し、グラミン日本が提供する金融教育のワークショップと掛け合わせて地域が抱える課題を解決する仕組みを構築していきます。

このワークショップは定期的を開催することを予定しており、金融教育に関連する資料もグラミン日本が貸し出すことで船橋市内でも起業家を教育者として育てていく取り組みも並行して実施していくことを検討しています。

グラミン日本と共に船橋市での取り組みをリードする山崎さんは「グラミン日本のプログラムでは基礎的なことを丁寧に教えてくれるので『これから何かを始めたいのかわからない』や、『何から手をつけていいのかわからない』という人にとっては有効なプログラムだと感じている」と話されています。山崎さんは13年間船橋市内でタウン誌とローカル

ニュースの編集を担当されてきたご経験があり「街にある『貧困』についての実態を何度も目にしてきた」と話されています。また「そうしたものは課題として解決していくと同時に、誰かの事業を生み出していく事と並行・連動していかなければダムに開いた穴のようになる。次々にいろいろな原因で貧困が生まれますが、その多くが「知らないから」という原因であることが多いように思います。だからこそ、ワークショップを通して起業家教育を提供し、事業を作ること、お金について知ること、働くということについて地方の市民が学ぶ機会があれば、地域レベルをあげることができ、ひいては日本も変わっていくと信じています。」と力強く語られていました。

グラミン日本は大都会だけでなく、地域での活動にも力を入れており、これまで以上にワクワクする新しい世界を創るという強い使命感を抱きながら経済的自立に向けて苦しんでいる状況にある人に、これからも寄り添った支援をしていきます。



## みんな電力×グラミン日本による「グラミンでんき」

### 生活に困っている方へ

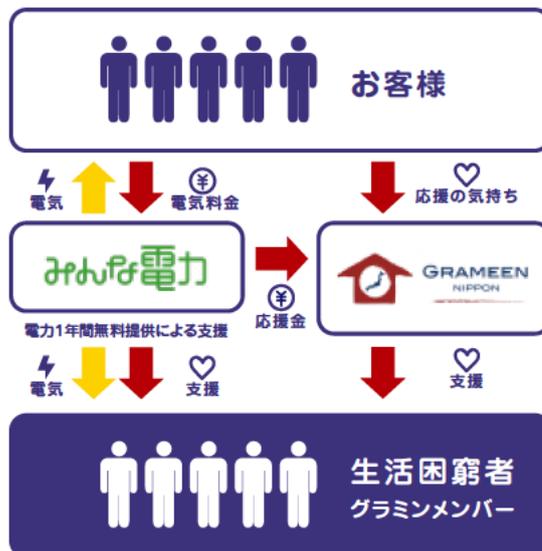
電気代の心配することなく、新しいチャレンジへ

自立への足掛かりの一つとして、グラミン日本の支援対象者(グラミン・メンバー)の1年間の電気代を、みんな電力が無料にします。

### 支えたい方へ

電気を切り替えることで、生活に困っている方を支援

ご自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えるお手続きだけで、電気代のうち毎月100円をみんな電力からグラミン日本にお届けします。これにより手間なく継続的にグラミン日本をご支援いただけます。



「誰もが電気をつくって売ることができたら、富の分散につながり、貧困の解消にもつながる」という思いをもとに創業したみんな電力と、グラミン日本が持つ「貧困の解消」という共通の理念を実現するために、両者の事業を掛け合わせたソーシャル・ビジネス「グラミンでんき」をリリースしました。

### 「グラミンでんき」概要

#### ① 応援の気持ちを毎月100円寄付で形に

自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えることで、毎月の電気料金から100円を、生活困窮者に低金利・無担保で少額融資を行うグラミン日本に寄付できます。生活が苦しい方たちの自立を応援する気持ちを、簡単かつ継続的な方法で形にすることができます。

#### ② 生活困窮者としてグラミン日本の支援プログラムを受け、

さらに自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えた方は、電気料金が1年間無料になります。

電気料金の心配をすることなく、起業や就労の準備に打ち込むことができます。またグラミン日本の支援を通じて経済的自立を実現した方は、「グラミンでんき」を継続して利用いただくことで、今度は生活困窮者の支援をする側として毎月100円寄付を行うことができます。

#### ③ 供給されるのは再エネ由来の電力

1. 2. のいずれの場合も、「グラミンでんき」契約者はFIT電気+再エネ比率75%の「スタンダードプラン」または再エネ比率100%の「プレミアム100プラン」から契約プランを選ぶことができます。グラミン日本の取り組みに関わりながら、みんな電力の強みである再エネ電力を利用することで気候変動の要因といわれるCO2の削減に貢献することができます。

グラミンでんきは生活困窮者を支援しつつ、CO2削減にも皆で貢献し、実際にグラミン日本の融資対象になっている方は電気代が無料になるという画期的なビジネスモデルです。今後もグラミン日本はこのようなソーシャル・ビジネスを様々な企業と連携しながら仕掛けていくことを検討しており、みなさまのご支援がその共創を可能にします。

## 「のわみ相談所」および「NPO法人わっぱの会」と 共同で起業・就労支援活動を実施（愛知県）

生活資金を提供する「ソーネ基金」は、「のわみ相談所」や「わっぱの会」等、様々な個人・団体と共に設立されたもので、就労・起業のための融資するグラミンローンとの相乗効果が見込まれるため、起業に向けてのワークショップを共同で開催しました。

「グラミン懇親会」と呼ばれているこのワークショップは、のわみ相談所の協力のもと選ばれた5人グループの融資候補者の方々向けに実施されており、それぞれの夢を実現する上で必要なスキルやノウハウを学ぶコンテンツとなっています。一時コロナの影響で中止となっていました。7月よりワークショップの運営が再開され、9月に実施された「プチ起業ワークショップ」では各参加者の人生の曲線、Ethos/Pathos/Logosを発表し、フィードバックを受けるといったセッションを実施したところ、「メンバー間での大きな発見や共感が生まれ、一つの転機になった」とグラミン日本の名古屋拠点での地域事業をリードする関野さんは話しています。

各メンバーはグラミンローンを通して自営業での運転資金、就労のための資格取得を目指しており、起業ワークショップは、融資に向けた事業計画書作成において、他メンバーとの議論を重ねて内容を深掘りする場となっています。

また、NPO法人わっぱの会と共に取り組む事業立ち上げ支援は障がい者の方を対象とする予定で、融資候補者選定に向けて5人一組の互助グループ結成に向けた課題克服のための話し合いが行われる予定です。

関野さんは「生活困窮者は新型コロナウイルス感染拡大の影響で増加基調にあります。今後は愛知県内で体制を整備して連携団体を増やし、グラミン日本で少しでも多くの困窮者を支援すべく、活動を続けていこうと思っています」と話されています。新型コロナウイルスの影響で先に見えない状況になっている今だからこそ、マイクロファイナンスが必要とされています。



## コロナ禍で困窮する若者・ひとり親の支援強化に向け、READYFORでのクラウドファンディングを開始

グラミン日本はコロナの影響に苦しむ方々に寄り添うプロジェクトとして、日本初・国内最大のクラウドファンディングサービス「READYFOR」で、「グラミン日本 コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。」のクラウドファンディングを開始しました。2020年8月14日(金)より11月11日(水)まで、1,000万円を目標に寄附を募りました。

### いただいた支援金により

- ① 求職者と求人企業の人材マッチング
  - ② マイクロファイナンスの融資原資
  - ③ 起業ワークショップの開催
- を実施します。

実施の背景として、新型コロナウイルスの影響により、若者やひとり親を中心に多くの方々が職を失い、苦しんでいるという背景がありました。

- 会社が派遣切りを行い、契約を切られた。新たな就職先が見つからず、日々の生活にも困っている。(派遣社員・28歳)
- 就活を始めた矢先にコロナのために、前途をふさがれた、何社にコンタクトしても採用されない。アルバイトも解雇された。(学生・20歳)
- 会社から解雇され、子どもを抱えて途方に暮れている。(シングルマザー・32歳)

グラミン日本は、「わたしたちの未来への先行投資」をスローガンに掲げ、多くの企業、個人のボランティア・プロボノの専門家などのご支援を受けて活動をしており、今回のコロナ禍で、多くの企業や専門家の方々から就労・起業支援の提供について申し出をいただきました。グラミン日本が持つさまざまなサポーターの皆様との連携を通じて就労・起業による経済的自立支援を強化し、新型コロナ禍に苦しむ方々に寄り添いながら、「苦境からの脱出」と、「新しい生活の実現」に取り組んでいきます。

### プロジェクト概要

名 称	グラミン日本   コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。
目標金額	1,000万円
公開期間	2020年8月14日(金)～11月11日(水)
形 式	寄附型 / ALL-IN形式 ※ ※目標金額の達成の有無に関わらず、集まった寄附金を受け取ることができる形式です。
U R L	<a href="https://readyfor.jp/projects/grameen-nippon">https://readyfor.jp/projects/grameen-nippon</a>

### ご支援いただいた高額寄付の皆様

500,000円	橘田 大輔 様
300,000円	鎌田 聖子 様
100,000円	望月 利昭 様
100,000円	刈田 圭子 様
100,000円	東 百合子 様
100,000円	若月 一郎 様
100,000円	河越 政人 様

# 資金面での支援

これまでも多くの皆さまからご支援を頂きましたことに心より感謝申し上げます。より一層の事業拡大のため、皆さまのご厚情、ご支援をお願いする次第です。頂きました貴重なご支援は、グラミン日本の事業運営のために大切に、また有効に使わせて頂きます。



団体  
賛助会員  
26社

## 寄付

オンラインで寄付を受け付けております。  
ご寄付は主にグラミン日本の事業運営に充てられます。  
以下のURLからマンスリーサポーターにお申込み頂けます。  
[https://congrant.com/credit/form?project\\_id=1952](https://congrant.com/credit/form?project_id=1952)

## 基金

基金はグラミン日本の資本金に充てられます。「ユヌス・ソーシャルビジネス7原則」に基づき、配当は行っておりません。事業利益は主にグラミン日本の事業を改善・拡大するために使用いたします。

## 賛助会員

賛助会員は、グラミン日本とともにエコシステムを形作る「アンバサダー」であり「パートナー」です。  
会員区分に応じた特典をご提供します。

### 1. 団体賛助会員はグラミン日本のパートナー

団体賛助会員は、ともに事業の発展を目指す「パートナー」です。

### 2. プラチナパートナーは「事業共創パートナー」

「プラチナパートナー」(団体賛助会員プラチナ)の皆様は、グラミン日本ゴールドパートナーと連携して、本業で共通価値の創造を行うことを意図する企業等の事業共創パートナーです。  
グラミン銀行は、ダノン様(フランス)、ユーグレナ様などの企業が協働による事業開発を行っていますが、グラミン日本では、日本国内の生活困窮者の自立に役立つ事業を考案し、実現することを目指します。  
まさにM. ポーターの主張する「共通価値の創造」を貧困削減という分野で形にしようというものです。

商品・サービスの開発	例:グラミン日本の顧客向け預金・共済/保険・投資信託、シングルマザー向け家事代行サービス等
ダイバーシティ支援	シングルマザー、LGBT、外国人等、多様な属性の人が楽しく働ける環境づくり支援
イベント開催	貧困ゼロに向けたチャリティ・啓発イベント、社会研修等
セーフティネット構築	社員が貧困に陥りそうになった時、貧困脱却を支援するサービスを提供

### 3. ゴールドパートナーは「就労・起業支援パートナー」

「ゴールドパートナー」(団体賛助会員ゴールド)の皆様は、生活困窮者の自立支援等に関する企業、非営利組織等の就労・起業支援パートナーです。

シングルマザーへの就労・起業機会提供(フランチャイズ等)の連携

シングルマザーの自立を目指した伴走型支援や居場所の提供等の連携

### 4. シルバーパートナーは「グラミン日本の活動支援パートナー」

「シルバーパートナー」(団体賛助会員シルバー)の皆様は、グラミン日本の活動に共感する企業、非営利組織等の活動支援パートナーです。

オンラインコミュニティ参加による双方向の情報提供による活動

#### ご入会方法

下記のEメールまでお問合せください。申込に必要な書類をお送りいたします。

**Eメール: [support@grameen.jp](mailto:support@grameen.jp)**

● 原則メール申し込みとさせていただきます。

(団体賛助会員の区分)

類 型	募集対象等	会 費
プラチナパートナー (団体賛助会員プラチナ)	事業共創パートナーとなる団体(グラミン日本、ゴールドパートナーと連携して、本業で共通価値の創造を行うことを意図する企業等を念頭)	年一口 1,000,000円
ゴールドパートナー (団体賛助会員ゴールド)	就労・起業支援パートナーとなる団体(生活困窮者の自立支援等に関する企業、非営利組織等を念頭)	営 利 団 体 年一口100,000円 (原則3口以上) 非 営 利 団 体 年一口30,000円
シルバーパートナー (団体賛助会員シルバー)	グラミン日本の活動に関心のある(支援したい)企業、非営利組織等。	営 利 団 体 年一口30,000円 (企業等) 非 営 利 団 体 年一口12,000円

(特典比較)

	プラチナ	ゴールド	シルバー		プラチナ	ゴールド	シルバー
活動報告(年次報告書の送付等)	○	○	○	就労・起業支援の提携 パートナーコミッティ(会員ネットワーク)提供	○	○	
グラミン日本HPや年次報告書等への掲載	○	○	○		事業共創支援、ビジネスマッチング	○	
主催イベント、交流会へのご招待	○	○	○	主催イベントにおけるスポンサー枠提供		○	
主催イベントにて団体名とロゴの掲示	○	○	○				
オンラインコミュニティ参加と情報提供	○	○	○				

# Partners & Supporters

支援者・支援企業一覧

企業  
プロボノ支援  
10社

## フィーチャードパートナー



アクセントチュア株式会社

NPO特定非営利活動法人  
イエロー・エンジェル  
Yellow Angel  
NPO特定非営利活動法人  
イエロー・エンジェル



Water FinTech JAPAN株式会社



気軽で温かみのある  
第一勧業信用組合  
第一勧業信用組合



一般社団法人  
日本シングルマザー支援協会  
一般社団法人  
日本シングルマザー支援協会



PwC Japanグループ



ブラックストーン・グループ・  
ジャパン株式会社



株式会社丸井グループ



都市に豊かさと潤いを  
三井不動産  
三井不動産株式会社



協同労働の協同組合  
労働者協同組合(ワーカーズコープ)  
日本労働者協同組合  
ワーカーズコープ連合会

## プラチナパートナー



株式会社ジモティー



株式会社スープストックトーキョー



みんな電力株式会社



UTグループ株式会社



株式会社Resta

## ゴールドパートナー



日本にベビーシッターの文化を

株式会社キッズライン

元気でんき

元気でんき株式会社



ココネット

ココネット株式会社



株式会社  
セールスフォース・ドットコム



株式会社  
セプテーニ・ホールディングス

Social Business  
Dream Partners

一般社団法人  
ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ



第2750地区 The Rotary Club of Tokyo South  
東京南ロータリークラブ

東京南ロータリークラブ



株式会社ファクト



株式会社フリーダム



公益財団法人  
みんなの夢をかなえる会

Metra

株式会社METRA



ワイジェイFX株式会社



株式会社Luce



アニスピホールディングス

## シルバーパートナー

おひさまエナジーステーション株式会社

株式会社船井総合研究所

株式会社ワークアカデミー

## サポーター



マカイラ株式会社



株式会社meguri

## 参加する

グラミン日本では、今後の運営を誠心誠意サポートしてくださるプロボノやボランティアサポーターを募集しています。

コア  
サポーター  
40人

### 例えば…

- プロボノやボランティアサポーターとして事業の企画運営
- グラミン日本主催の各種ワークショップやイベント等の準備と参加
- グラミン日本の活動をSNSなどで拡散、広報支援

プロボノ、ボランティアサポーターを毎年募集しております。  
詳しくは、以下のURLをご確認ください。

**募集ページ** <https://grameen.jp/pro-bono-and-skilled-volunteers/>

### サポーターの 声

社会人として働きながら、困っている皆さまのために何か力になれることはないか、少しでもお力になればと思い、参加しました。自分自身も、本業以外のコミュニティで多くの素敵な仲間たちとグラミン日本の運営に携わることができ、貴重な経験をさせていただいています。グラミン日本に出会って救われる方が少しでも増えますように、これからも社会課題の解決を目指し、事務局から微力ながらサポートを続けていきたいと思っています。



稲畑 由紀 事務局



平野 和希 事務局

まだまだ一般的には認知度の低い日本の貧困に、他人ごとにならず、できることから行動していこうとボランティアとして参加しています。グラミン銀行という世界的なつながりに心強さを感じながら、日本の文化に寄り添ったかたちで「貧困」をなくしていきたい。日々ボランティアとして集う方々の多さと能力の高さに、こんなにも真剣にどうにかしようとする人たちがいる!と嬉しく、グラミン日本が社会を変えることを確信しています。

困っている人の力になりたい。生活が困窮している人々の実態を知りたい。そんな想いでグラミン日本に参加しました。グラミン日本では、広告会社であるセプテーニのプロボノの方と協業して、HPやSNSでの情報発信を担当しております。セプテーニとの協業の中で、web広告に関する知識や知見を得られたのはもちろん、複数組織をまたがる仕事の進め方といったポータブルスキルを身に付けることができました。組織の足りない部分を、時間をかけることで補えるという点で、学生ならではの価値提供ができていると感じています。HP担当の社会人が本業の多忙により稼働できないという状況で、私はHP作成ツールを「0から」学び、今ではページを管理しております。今後は、HPやSNSでの発信を通して、グラミンに共感する若者を増やしていきたいと思います。



石黒 裕暉 学生インターン



三浦 幸菜 学生インターン

海外大学留学をきっかけに人の本当の幸せを考えるようになりました。そんな中で自分のやりたいこと、夢を誰でも追うことができる“貧困のない、誰もが生き生きと生きられる社会”作りを目指しているグラミン日本の思いに賛同し、参加を決めました。学生ボランティアは、特に様々な人に出会うことができ、その考えに触れることができるのでとても貴重な経験を得られると思います。今後、グラミン日本の思いに賛同してくれる仲間が増え、一緒に活動できることを楽しみにしています。

グラミン日本でインターンシップを始めた理由は深刻化する貧困問題、格差問題の解決に貢献したいと考えたためです。私は貧困や格差のない社会こそが本当の平和だと信じています。グラミン銀行の創設者ムハマド・ユヌス博士がこのような社会を実現できるという可能性を我々に示してくださいました。私はグラミン日本での活動を通して、生活に恵まれていない人々や夢を追いかけている人々の一番の味方になり、彼らと共に明るい未来を歩んで行きたいと考えております。



張 子安 学生インターン



北川 紫乃 学生インターン

ムハマド・ユヌス博士の著書「貧困のない世界を創る」を読み、グラミン銀行の仕組みに共感したことから、学生インターンとして活動に参加しています。日本は一見、裕福な国ですがその中で格差が拡大しており相対的貧困者の数も急増しているという現実を知りました。社会的に困窮しているの方々のためのサポートをすることで明るい日本の未来を創っていきたくです。グラミン日本の取り組みが多くの方に届くように精進して参ります。

私は社会に貢献したいという思いから、グラミン日本に参加しました。実際にグラミン日本では、参加されている皆さんが、より良い社会にしたいという強い信念を持って活動されています。そんなグラミン日本での日々の活動から学ぶことはとても多く、貧困問題をはしめとした様々な社会問題が、他人事ではないということ強く実感しました。より良い社会を作るため、今後もグラミン日本での活動に取り組んでいきたいです。



鈴木 信也 学生インターン



陳 又禎 学生インターン

大学院でマイクロファイナンスを中心に研究活動を行った際に菅会長の本を拝読し、グラミン日本をもっと知りたいと思いボランティアに参加しました。グラミン日本では各業界の専門家が丸となって、普段目に見えない人々のニーズに真摯に向き合っている組織だと感じました。グラミン過去展開した地域と違い、日本の社会に適するアプローチを模索するのが大きなチャレンジですが、私はグラミン日本の支援、ボランティアメンバーの思いはそれを乗り越え、より多くの人々に届くと信じています。

小企業金融やマイクロファイナンスの知識を生かせる、社会への恩返しができる、そして人生後半の指針が何かしら見つかる、そのような思いを抱きつつ、創設前から参画しています。業務の具体化作業や利用メンバーとの交流、各種イベントへの参加など極めて有意義な機会を得てきました。コロナ禍による時間的制約から、このところ「点」での参加が精一杯になっていますが、さらに継続して貢献できれば幸いです。



阿部 淳一 融資事業



関野 太郎 融資事業

私は愛知県で活動しています。元々貧困家庭の子どもの支援をしてきましたが、橋本卓典さんの『金融排除』でグラミン日本を知り、親世代の生活困窮状態を解決したいとの思いから、ボランティアメンバーとして参加しました。コロナ禍で生活困窮者が増加する中、愛知県でも態勢を拡充して連携団体を増やし、“Fast alone, Far together!”の精神で、仲間と共に1人でも多くの方を支援していこうと思っています。

生活困窮者支援の学習会でグラミンを知り、お手伝いをさせて頂いております。コミュニティソーシャルワーカーの立場として、福祉現場と経済・金融資源との連携協働のお役に立てればと存じます。可能性あふれるグラミン日本の活動を通じて、困りごとの分け合える社会の実現を目指しています。業界をこえて、さあ一緒に!



渡辺 光亮 融資事業



山口 聖子 融資事業

20代の頃、人材業界で幅広い層の転職を支援していました。給与や職種で仕事を選ぶ人が大半で、本当にやりたいことを仕事にしている人はほんの僅かでした。あれから20年、当時に比べ自ら仕事を創り出すことが容易な時代になったにも関わらず、お金がないことで夢を諦めている人が多くいることに悶々としていました。そんな中、グラミンの存在を知り、是非ともボランティアとして応援したいと思い、参画を決めました。



太田 智 会員事業

学生時代にネパールで貧困問題に直面し、この問題と対峙していきたいという想いがありました。その中で日本での貧困問題の実情を知り、2019年夏頃よりグラミン日本でのボランティアとしてサポートすることにしました。「人に魚を与えれば一日で食べてしまうが、釣り方を教えれば一生食べていける」という言葉をモットーとしており、この団体を通してより経済的自立を支援できるような仕組みづくりを作りたいと思っています。

百野理事長より「ITの力でグラミン日本の活動を盛り上げてほしい」というご依頼がきっかけでIBMプロボノチーム有志のみなさんと参画しています。よりたくさんのSDGs目標達成に貢献するソーシャルビジネスの開発や、ユヌス博士の提唱する「新しい経済システム」の実現に向け、グラミンモデルを日本で展開するグラミン日本から、世界のグラミングループが繋がる取り組みを発信していきます。



三上 幸司 会員事業(IT戦略)

グラミンに関するニュースや著作を見て、興味を持ち、初めてボランティアに参加しましたが、多くの思いを同じくする方々に温かく迎え入れていただき、新しい発見も多く、非常に貴重な体験をすることができ、感謝しています。まだまだ新しいチームですので、多くのメンバーの助けを必要としています。得意な分野を生かし合いながら、チームで一步一步進んでいきたいと思っています。



上木 恒宏 内部監査

子ども向けの雑誌・書籍の編集の仕事をしています。雑誌の取材を通じてグラミン銀行、そしてグラミン日本の立ち上げを知り、メンバーの皆さんの熱い想いに心を打たれました。金融の世界は難しいカタカナがたくさん。私のように金融に疎い人でもわかりやすいツールづくりのお手伝いができたらと、参加させていただきました。あらゆる分野のボランティアメンバーが集まるグラミン日本はとても刺激的で、多くの学びをいただいています。



吉田 美穂 広報



石井 寛子 マーケティング

日本の金融等制度は弱者には優しくないと感じており、弱者にも優しい金融に取り組みたいと考えていたところグラミン日本に出会いました。サポーターとしての、本業だけは出会えない意欲ある仲間との活動は、何ものにも代えがたい経験となっています。グラミン日本によって諦めない人生を送れる人が増えていくことを願っています。

### ボランティアの仲間たち

阿部 淳一	鵜飼 眞弘	笠原 けい子	河野 亜莉	杉本 紗世	中山 和之	平野 和希	三上 幸司	山崎 健太郎
石井 寛子	大泉 豊	加勢 未来	後藤 元気	関野 太郎	西山 由貴	深草 稔	御任 李成	山田 浩貴
泉 裕子	太田 智	加藤 総	佐久 間香	関 弾	野中 祐希	星 和宏	森信 香織	横治 明彦
伊藤 雅彦	大山 遼	金子 郁代	佐竹 城	高橋 歌織	林 由香	本田 奈織	藪田 匡史	吉田 美穂
伊藤 晃三	岡野 真由美	鎌田 聖子	下谷 有希	高道 範武	東出 忠昌	松尾 英治	山上 洋平	渡辺 光亮
稲畑 由紀	影山 溪	川島 瑛里子	上木 恒宏	田村 有	平尾 真大	眞辺 義明	山口 聖子	


 企業プロボノの  
声

Skill to Succeed(スキルによる発展)を目指すアクセンチュアのプロボノとして、主にLINEのチャットボット企画・開発に携わらせていただきました。貧困に困っている方に対して、お金や物資の支援ではなく、融資を通して自立に向けたサポートをされているグラミン日本の取り組みは、もっと多くの方に知ってもらわなければならないと感じております。その一助として、チャットボットがお役に立ち、グラミン日本に興味を持ってくださる方が増えることを心から願っております。

**アクセンチュア株式会社 中村 智幸**



Skill to Succeed(スキルによる発展)を目指すアクセンチュアのプロボノ支援の一環で参画しています。起業のワークショップやLINEのチャットボット企画の中で、グラミンの融資を受けて起業したメンバーから企画へのフィードバックをもらったことや、本業では関わることのない学生ボランティアや他の支援企業の方と共に活動ができたことは、私自身の価値観や貧困問題への意識を変えるような貴重な経験になりました。グラミン日本と共に私自身も成長しながら、一人でも多くの受益者の方に支援を届ける活動に取り組んでいきます。

**アクセンチュア株式会社 岩橋 美希**

ブラックストーン・グループ・ジャパンの一員として、弊社グループの慈善財団を通じてグラミン日本の支援に携わる機会をいただきました。私自身、20代の頃ワーキング・プアでしたが、周囲の方に助けられ、チャンスをもらい、脱することができました。日本には「恥の文化」があり、「自己責任」という言葉も重くのしかかり、困窮に陥っても助けを求めづらい社会の側面があります。グラミン日本の活動が今後も益々広がり、誰もが生き活きと暮らせる社会に近づくことを願っています。

**ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 川添 麻紀子**



米国のような先進国においても移民や難民の自立を支えたグラミンモデルが日本に展開されていると初めて知った時、在日外国人として生まれ「お金に困る」ことの怖さを身近に育った私は素直に驚きと感動を抱きました。学生時代にグラミン銀行が金融包摂というビジネスの力で社会課題の解決に挑戦する可能性に大いに魅せられた者の一人として、グラミン日本の就労支援やコレクティブインパクトの構築に貢献していきます。

**デロイトーマツコンサルティング合同会社 金 辰泰(グラミン日本顧問)**

グラミン日本様と出会い、所与の理由で経済的困窮・心理的孤立という状態に置かれている方々も含めた、社会全体のエンパワメントとインクルージョンの姿勢が必要だと改めて認識しました。自分の中の使命感と熱意をもって、事業活動に参画させていただいています。グラミン日本と共に、企業・自治体・アカデミア様々な連携を生み出し、日本社会のダイバーシティ&インクルージョンをさらに深いレベルに深化させていきます。

**デロイトーマツコンサルティング合同会社 児玉 都(グラミン日本顧問)**



大学で福祉政策を学び、その後も支援を必要とする人や支援に尽力されている人とかかわるなかで、ご本人たちだけでなく、法律や制度、社会構造、私たち1人ひとりが持つ「無理解・無関心」が多層的に折り重なっていることが問題なのだと感じていました。広報・アドボカシー活動としてグラミン日本に携わることで、こうした状況を変え、「みんなで取り組んでいく(Far together)」環境を整えたいと考えています。

**株式会社オズマピーアール 佐藤 剛**



社会課題の解決やサステナビリティの実現には、行政、企業、NPOなどが枠を越え、それぞれの強みや資産を生かしながら、社会的価値の創出と経済合理性を両立させる「コレクティブ・インパクト・アプローチ」が重要です。PwCコンサルティングのプロボノチームとして、グラミン日本や他企業とともに貧困問題の解決に取り組み、社会により大きなインパクトを創出していきたいと考えています。

**PwCコンサルティング合同会社 間世田 豪**

社会貢献には高い関心があり、社内プロボノの募集を見て「これだ」とすぐに参加を決めました。

実際に参加してみると、NPO活動の幅広さ、起業を目指す方々の熱意など、感銘をうける事が多く、微力ながらご支援できたのは大変得難い経験でした。1年弱と短い期間でしたが、様々な方と出会い、多くを学び、自分自身も成長したように思います。これからグラミン日本を通じて、多くの方が夢を実現し成功されることを期待しています。

**SMBC日興証券株式会社 加藤 かおる**



本業の証券会社での仕事以外に何か社会貢献ができないかと考えていた時期に、私自身母子家庭で育ったこともあってグラミン日本の活動に強く共感し、その活動を世に知ってもらうための事業報告書などの作成に参画しました。

日本の貧困問題解決に熱い想いを持った運営メンバーと前向きな議論を交わしながら、自身が貢献するだけでなく、本業では得られない学びや気づきがあり貴重な経験ができました。今後もグラミン日本で支援や幸せの輪が広がっていくことを信じています!

**SMBC日興証券株式会社 河野 諒**

セプテーニでクリエイティブディレクターをしています。クリエイティブの力で世の中を良くしたいと漠然と思っていたことに加え、グラミンの理念に共感したこともあり、お手伝いさせていただくことにしました。自分の専門知識を活かし、WEBサイトの制作を担当しています。一人一人の小さな支援の輪が広がって、今よりもほんの少しでも良い社会になればいいなと思っています。

**Septeni Japan株式会社 中澤 綾乃**



既存のビジネスの枠組みにとらわれず、時代に必要とされる新たな価値を生み出していくグラミンの理念と実行力に共感し、マーケティング支援の役割で参加いたしました。グラミンを支える企業プロボノや学生インターンとともに、SNSやWEBサイトでの発信している中で、当事者や支援者の圧倒的な熱量に触れ、日々刺激を受けています。コミュニティ形成とグローバルクオリティサービスの両軸で、グラミン日本が創り出す未来に期待しています。#わたしたちの未来への先行投資

**Septeni Japan株式会社 菅原 史哉**

## 財務状況

## 貸借対照表

2020年9月30日現在

(単位:円、税抜)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	17,333,377	19,640,292	-2,306,915
前払費用	572,193	702,926	-130,733
未収消費税	750	1,210	-460
短期貸付金	310,715	131,701	179,014
流動資産合計	18,217,035	20,476,129	-2,259,094
2. 固定資産			
(1) その他の固定資産			
助成金(指定)	2,000,000	-	2,000,000
特定資産合計	2,000,000	-	2,000,000
(2) その他の固定資産			
建物附属設備	-	1,139,089	-1,139,089
一括償却資産	60,668	293,243	-232,575
敷金	1,439,272	3,817,308	-2,378,036
長期前払費用	42,699	20,699	22,668
その他固定資産合計	1,542,639	5,269,671	-3,727,032
固定資産合計	3,542,639	5,269,671	-1,727,032
資産合計	21,759,674	25,745,800	-3,986,126
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,533,688	917,984	615,704
未払費用	95,746	74,797	20,949
未払法人税等	70,000	-	70,000
前受金	1,000,000	3,972,000	-2,972,000
預り金	-	20,880	-20,880
流動負債合計	2,699,434	4,985,661	-2,286,227
負債合計	2,699,434	4,985,661	-2,286,227
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 基金	16,020,000	16,020,000	-
2. 指定正味財産	2,000,000	-	2,000,000
(うち特定資産への充当額)	-10,079,680	-	-10,079,680
3. 一般正味財産	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
正味財産合計	19,060,240	20,740,139	-1,699,899
負債及び正味財産合計	21,759,674	25,745,800	-3,986,126

## 正味財産変動計算書

2019年10月1日から2020年9月30日まで

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	18,562,900	16,431,321	2,131,579
受取会費	8,320,000	11,620,000	-3,300,000
事業収益	21,688	147,136	-125,448
受取寄付金	141,358	4,664,000	-4,522,642
受取補助金等	10,079,680	-	10,079,680
雑収益	174	185	-11
(2) 経常費用	21,790,216	20,526,537	1,263,679
事業費用	9,369,227	7,912,450	1,456,777
管理費用	12,420,989	12,614,087	-193,098
当期経常増減額	-3,227,316	-4,095,216	867,900
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益	147,136	2,817	144,319
(2) 経常費用	619,719	-	619,719
当期経常外増減額	-472,583	2,817	-475,400
当期一般正味財産増減額	-3,699,899	-4,092,399	392,500
一般正味財産期首残高	4,740,139	8,832,538	-4,092,399
一般正味財産期末残高	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
受取助成金	12,079,680	-	12,079,680
一般正味財産への振替額(助成金)	-10,079,680	-	-10,079,680
当期指定正味財産増減額	2,000,000	-	2,000,000
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	2,000,000	-	2,000,000
<b>III. 基金増減の部</b>			
基金期首残高	16,020,000	6,000,000	10,020,000
基金受入額	-	10,020,000	-10,020,000
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	-
<b>IV. 正味財産期末残高</b>	<b>19,060,240</b>	<b>20,760,139</b>	<b>-1,699,899</b>

# メディア掲載情報

2019/10～2020/9

「ムハマド・ユヌス

「人は生まれながらにして起業家だ 今こそソーシャルビジネスを」

朝日新聞GLOBE+ (2020年7月15日)

「ノーベル平和賞のユヌス氏「利己的で利他的な人類に」

日本経済新聞 (2020年6月28日)

「誤った世界に戻すな。経済を再構築しよう。ムハマド・ユヌス氏(経済学者)」

毎日新聞 (2020年5月12日)

「SDGs起業家たち(7)「貧困目の前に」起業支援 日本版グラミン銀で融資」

日本経済新聞 (2020年3月18日)

「貧困は目の前にも 日本版グラミン銀行で起業支援」

日本経済新聞 (2020年3月8日)

「応援し合い、助け合うコミュニティの場に。

日本初のマイクロファイナンス、グラミン日本の挑戦」

IDEAS FOR GOOD (2020年2月27日)

「日本橋でSDGsと社会貢献考えるフォーラム

ムハマド・ユヌス博士らが講演」

日本橋経済新聞 (2019年11月29日)

# 沿 革

- |       |     |   |
|-------|-----|---|
| 2017年 | 2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● グラミン銀行創設者 ムハマド・ユヌス博士が講演のため来日。菅正広教授(明治学院大学大学院)とグラミン日本設立について合意。</li> </ul>   |
|       | 8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般社団法人グラミン日本準備機構設立(理事長・菅正広)</li> </ul>   |
| 2018年 | 5月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● クラウドファンディングにより1,000万円以上の資金を調達</li> </ul>   |
|       | 8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 貸金業登録交付(東京都)</li> </ul>  |
|       | 9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般社団法人グラミン日本設立、事業開始</li> </ul>   |
| 2019年 | 1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催</li> </ul>  |
|       | 3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本シングルマザー支援協会主催の合同セミナー「協会プレグラミン」を開始</li> </ul>   |
|       | 4月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1号融資(IT 資格学校授業料として)</li> <li>● 第2回グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催</li> </ul>   |
|       | 9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設立一周年。支援者にグラミン日本1周年を報告</li> </ul>  |
|       | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 役員改選。菅 正広 理事長が会長に、百野 公裕 理事が理事長に就任</li> <li>● TEDxNihonbashiにて、菅会長がプレゼンターとして登壇。</li> </ul>  |
|       | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユヌス博士来日イベント「ソーシャル・ビジネス・フォーラム2019」にて、兒玉理事が登壇。</li> <li>● ユヌス博士来日イベント「Japan Action Tank Forum 2019」にて、菅会長が登壇。</li> </ul>   |
|       | 12月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本シングルマザー支援協会との協働プログラム「プレグラミン」から初の5人組がグラミン日本で始動。</li> </ul>  |
| 2020年 | 1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベビーシッター・家事代行サービスを運営する株式会社キッズラインとのコラボ企画「新しい働き方セミナー」を開始。毎月2回継続実施。</li> <li>● 明治大学商学部小川ゼミ27期生との対話とプレゼン発表会を開催。</li> <li>● PwC社との協働プログラム「事業共創ワーキンググループ(WG)」がキックオフ。</li> <li>● PwC社との協働プログラム「事業共創ワークショップ」を開始。</li> </ul> |
|       | 5月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Accenture社との協働プログラム「起業・就業支援オンラインワークショップ」のパイロットを開始。</li> </ul>  |
|       | 6月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務所移転。</li> <li>● 広島県後援「2020世界平和経済人会議ひろしま東京セッション」にて、百野理事長が登壇。</li> </ul>   |
|       | 8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● READYFORクラウドファンディング「グラミン日本   コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。」を開始。</li> <li>● 第3期アニュアルレポートを発行。</li> </ul>  |

# 会社概要

団体名	一般社団法人 グラミン日本
所在地	〒〒103-0023東京都中央区日本橋本町一丁目3番2号 山崎ビル1階
電話番号	03-3516-2890
登録番号	東京都知事(T1)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号
H P	<a href="https://grameen.jp/">https://grameen.jp/</a>

名誉会長	ムハマド・ユヌス博士	監事	大倉 然
会長	菅 正広	顧問	根本 剛史
理事長	百野 公裕	顧問	江成 道子
理事	白瀧 征人	顧問	宇佐美 潤祐
理事	兒玉 久実		
理事	シェーファー・平ダーヴィッド		

## 【アドバイザーボード】

青井 浩	株式会社丸井グループ代表取締役社長
榮川 和広	弁護士
神永 晋	元住友精密工業株式会社代表取締役社長
北原 義一	三井不動産株式会社代表取締役副社長
佐藤 慎一	第一生命経済研究所特別顧問、元財務省財務事務次官
鈴木 敦子	NPO法人ETIC.理事兼事務局長
中内 綾	一般社団法人アフリカ協会理事
中村 誠司	中央電力株式会社取締役会長
丹羽 恵久	ボストン・コンサルティング・グループManaging Director & Partner
原 丈人	アライアンス・フォーラム代表理事、デフタパートナーズグループ会長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク代表
古村 伸宏	日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会理事長
安井 正樹	PwCコンサルティング合同会社 パートナー、一般財団法人PwC財団代表理事

【2020年9月30日現在】(あいうえお順、敬称略)

# What is Grameen?

## グラミンとは？

グラミン銀行は、1983年にムハマド・ユヌス博士によりバングラデシュで創立されたマイクロファイナンス機関です。

貧困や生活に困窮する人々に低金利・無担保で少額融資を行い、貧困脱却・生活自立の支援をしています。設立以来延べ930万人（うち、97%が女性）の貧困層に総額総額304億ドル（約3兆1,920億円）の融資を行い、返済率99.2%という驚異の実績を誇ります。（2020年6月現在）



### — 1989年 — 世界に広がるグラミンの輪

1989年には、グラミン銀行のマイクロファイナンスモデルを世界中に広め貧困撲滅を目指す非営利組織「グラミン・トラスト」を設立。延べ40カ国においてグラミンのアプローチの導入支援をしています。

### — 2008年 — 「グラミン・アメリカ」設立

米国に設立された「グラミン・アメリカ」では、銀行から融資を受けられない貧困状態の女性に総額総額[10]億ドル（約[1,100]億円）の融資を行い、13万件の雇用を創り出すなど、先進国においてもグラミンモデルが貧困削減に大きな効果を上げることを示しました。

### — 2006年 — ノーベル平和賞を受賞

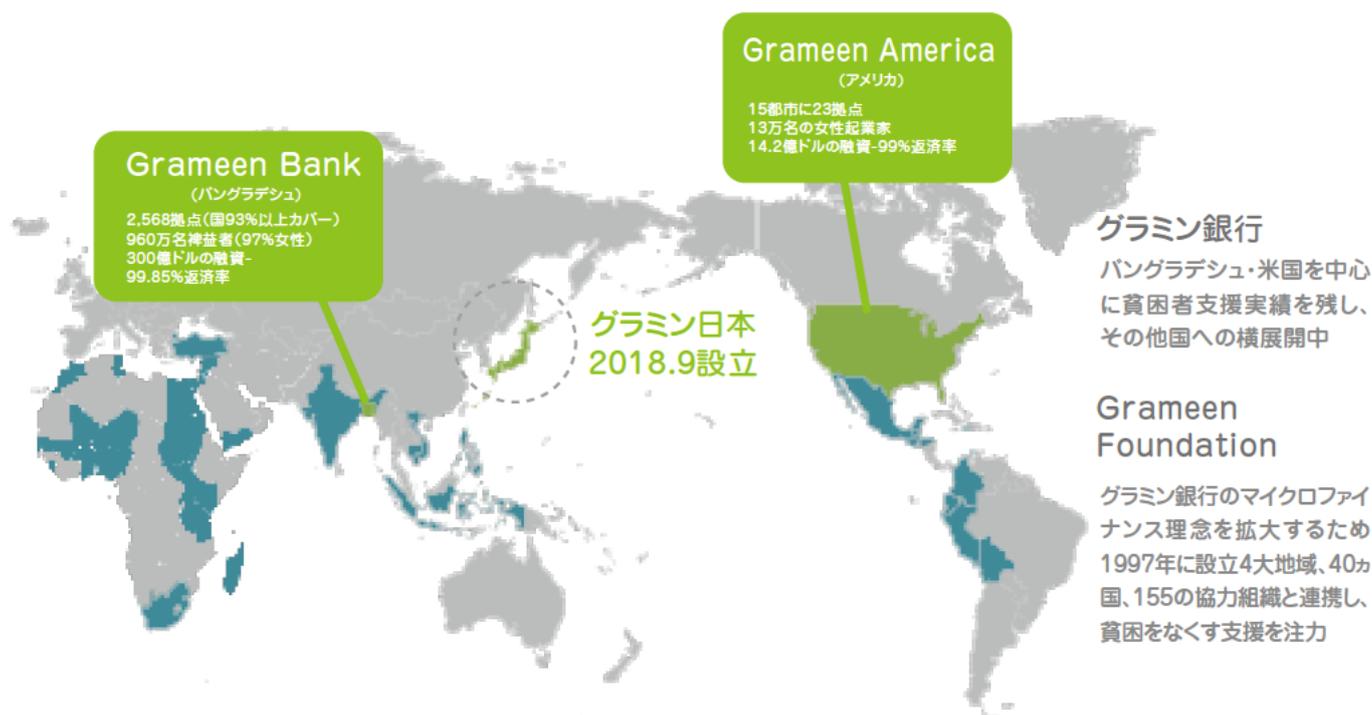
貧困脱却支援の功績が認められ、グラミン銀行とユヌス博士はノーベル平和賞を受賞しました。

ノーベル  
平和賞  
受賞

### — 2018年 — 「グラミン日本」発足

2017年のユヌス博士来日時、明治学院大学大学院 菅正広教授と合意したことを受け、2018年に「グラミン日本」が設立されました。グラミン日本は、同じく先進国であるグラミン・アメリカの成功例をもとに、貧困・困窮状態の方々へのマイクロファイナンスを行っております。





グラミン日本は、ユヌス博士が提唱する  
**ユヌス・ソーシャルビジネス7原則**に  
基づいて設立・運営されています。

### ユヌス・ソーシャルビジネス7原則

- 1 利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること
- 2 財務的に持続可能であること
- 3 投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと
- 4 投資額以上の利益はソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと
- 5 環境へ配慮すること
- 6 スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること
- 7 楽しみながら仕事をする事

# Messages from CEO

ごあいさつ

## グラミン日本理事長 百野 公裕 Masahiro Momono

米国公認会計士。外資系コンサルティングファーム PwC、プロティビティ (旧アーサーアンダーセン) マネージング・ディレクターを経て、2018年9月にグラミン日本理事/COO、2019年10月より現職。



一般社団法人グラミン日本にご支援をいただき、誠にありがとうございます。

2020年は未曾有のコロナ渦により当然と考えていたことが当然でなくなり、変化を余儀なくされる1年でした。そしてグラミン日本の重要性を改めて痛感する年でもありました。

さて、グラミン日本の融資事業は、「2023年までに、困窮するひとり親および若者1,000人を2つの支援策(起業支援、就労支援)を通じて、年収300万円以上稼げるようにすること、うち女性比率が50%以上であること」を目標としていますが、2021年度については、1,000人の起業・就労トレーニング、100人の融資実行を目指してまいります。

その目標を達成するために、2021年度は「今の生活を安定させる手助けをすること。」そして、「将来を見据えた起業による自立を支援していくこと。」の両軸で事業を進めてまいります。

具体的には、既存のマイクロファイナンスや互助グループ形成の知見をベースに、サポート企業とのネットワークも活用し、就労・起業に向けた

モチベーション・スキル形成から金融教育、就労先の開拓・就労定着まで一気通貫でオンラインを活用した支援策を展開していく予定にしております。

グラミン日本のスローガンFast Alone, Far Together!

一早く行きたいならひとりで行け、遠くへ行きたいならみんなで行こう

アフリカのことわざのひとつなのですが、わたしはこの言葉が大好きです。グラミンに共感し、グラミンにより世の中を変えたいと思っている多種多様な皆さんと一緒に、グラミンの支援の輪を広げ、あらゆる方が生きやすい社会に向けて貢献できればと思っています。

コロナ渦の中で、2021年はさらにグラミンの支援を必要とする人たちが多くなると予測され、昨年以上に皆様のご支援が必要になるかと考えております。引き続きのご支援を賜ることが出来れば幸いです。





GRAMEEN  
NIPPON

# Annual Report 2021

一般社団法人 グラミン日本 第5期 事業報告書





# あなたとつくる、 希望の一步

- 2 代表者メッセージ
- 4 リブランディング&サイトリニューアルのお知らせ
- 6 Topics 1 就労支援プログラム「フラワープロジェクト」
- 8 Topics 2 マイクロファイナンス(小口融資)
- 10 支援した方々からのメッセージ
- 12 Partners & Supporters — ご支援いただいたみなさま
- 13 ご支援のお願い
- 14 財務会計報告
- 15 団体概要

グラミン日本は、「チャンス」を願い、  
一步を踏み出そうと想う人々の伴走者です。

## GRAMEEN NIPPON



ムハマド・ユヌス博士

グラミン銀行はムハマド・ユヌス博士により、1983年にバングラデシュで設立されました。貧困層を対象に5人一組の互助グループを形成し、低利・無担保で融資するマイクロファイナンスを展開。借り手のほとんどは女性で、融資金を元手にスモールビジネスを起こし、経済的自立を目指します。2006年、ユヌス博士とグラミン銀行は、貧困削減に寄与した功績により、ノーベル平和賞を受賞しました。

### マイクロファイナンス

マイクロファイナンスとは、低利・無担保で少額の融資を行い、貧困や生活困窮の状態にある方々が、起業や就労によって自立するのを支援する仕組みです。

### 就労支援

多様な企業や団体などと連携し、生活困窮状態にある女性たちのスキルアップを支援し、就労機会を提供します。何があっても奪われない「稼ぐ力」の獲得をサポートします。

### 支援モデル

### グラミン日本の目指す姿

- 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット／ソフトインフラとして整備されている社会
- 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- 生業的な起業(プチ起業／小商い)が普通にできる社会
- ユヌス・ソーシャルビジネス7原則が実践される社会
- Job SeekerよりJob Creatorが活躍できる社会
- 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

# 代表者メッセージ

**2021年、誰もがいきいきと活躍する社会の実現に向けて、  
私たちは挑戦と成長を加速させました。その背景には、強い危機感があります。  
長引くコロナ禍により経済活動が大きく制限された結果、  
経済格差の拡大や固定化が指摘されています。  
早く、広く、確実に支援を届けるために  
グラミン日本は進化し続けます。**



百野 公裕  
Masahiro Momono

## 1人でも多くに グラミンモデルを届ける

厳しい経済環境が続くなか、特にシングルマザーをはじめとする女性たちをめぐる状況は、深刻さを増しています。

この危機的な局面に際して、グラミン日本は2つの重大な選択をしました。1つは、支援する方々の自立と成長を後押しする、従来のグラミンモデルの強化です。一時的な資金援助ではなく、起業や就労によって力強く生きていくためのサポートを、資金面でもスキル面でもワンストップで提供する。これが、グラミン日本の最大の特徴であり、強みでもあります。

2021年はこの強みを最大限に発揮するため、1人でも多くの方に支援を届けることを目的としたアウトリーチ強化を実施しま

した。小規模の事業を始めるための「プチ起業ワークショップ」<sup>※1</sup>を毎月開催し、計200名以上の方に参加いただきました。また、休眠預金を活用した就労支援事業「フラワープロジェクト」も、新たに開始した取り組みです。休眠預金を原資に若者たちを雇用し、スキルアップなどを通じて就労機会を創出するキャッシュフローワークへの採択を受けたもので、ビジネスライティングとRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)をテーマに実施しました。2022年も再びキャッシュフローワークに採択されたことを受け、デジタルスキルの獲得を中心に、引き続きフラワープロジェクトを展開していく予定です。

## コレクティブインパクトによる 持続可能な支援

足元を固める一方、私たちはもう1つの重大な選択をしました。それが、ポストコロナを見据えたコレクティブインパクトの強化です。コレクティブインパクトは、組織や立場の枠を超えて共通のビジョンのもとに集い、それぞれの強みを活かして取り組む課題解決の手法です。先のフラワープロジェクトはまさしくこの手法によるものです。

さらに、SAPジャパン、日本シングルマザー支援協会とともに、シングルマザーと企業をつなぐデジタルプラットフォームを立ち上げました。仕事を求めるシングルマザーと、デジタル人材不足に悩む企業をマッチングすることで、貧困と人手不足という2つの課題解決を目指します。社会を変えるためには、個々の活動だけでは限界があります。さまざまな企業や団体とタッグを組み、変革の大きな波を継続的に作り出していくことが欠かせません。グラミン日本はこれからもあらゆる機会をとらえていきます。

2021年7月には、グラミン銀行の創設者でグラミン日本の名誉会長でもあるムハマド・ユヌス博士が、国際オリンピック委員会(IOC)よりオリンピックローレルを授与されました。コロナ禍での開催にさまざまな意見があった東京オリンピックではありませんでしたが、その開会式の中でユヌス博士が、ソーシャルビジネスで社会を動かす変革者として表彰されたことは、私たちにとってこのうえなく勇気づけられるニュースとなりました。

グラミン日本の挑戦は、まだまだこれからが本番です。みなさまの引き続きのご支援を、心からお願いいたします。

※1 プチ起業ワークショップは「ミライWorkShop」に改名しました。

# リブランディング & サイトリニューアルのお知らせ

設立以来、初めてとなるリブランディングを実施しました。  
なぜこのタイミングだったのか。そこに込めた願いとは。  
私たちの思いをお伝えします。

## ビジョン実現を加速する

グラミン日本はこれまで、経済的に苦しい状況にある方々へ、低利・無担保の少額融資(マイクロファイナンス)や、起業・就労支援などを行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、シングルマザーや非正規雇用の女性たちは職を失うなど厳しい状況に追い込まれました。さらに、世界的なインフレ加速による物価高騰が家計に追い討ちをかけています。今ほど、一人ひとりの実情に即した包括的な支援が求められている時はありません。

グラミン日本の理念に共感し、力を合わせて世の中を変えたいと思う多様な企業・団体・個人ボランティアのみなさまとともに、一刻も早く支援の輪を広げていきたい。そのような思いから、設立3周年に当たる2021年、ブランドメッセージとロゴマークを刷新しました。困難な状況にありながらもチャンスをお願い一歩を踏み出そうと想う人々に伴走し、誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会の実現のために、これからも歩んでまいります。



## ブランドロゴに込めたメッセージ

新たなロゴは、グラミン銀行のアイデンティティである「家」を継承しながら、よりシンプルで洗練されたデザインとして、「一歩を踏み出す人々の集う家」を表現しています。また、外に向かって開かれた扉は、新しい世界へ歩き出す人々の希望を表すものです。ロゴカラーは赤色を基調としました。赤は「博

愛」や「活力」を表し、グラミン銀行の日本版として「日の丸」も象徴しています。さらにSDGsの一番目の目標である「貧困をなくそう」の色でもあります。また、サブカラーとして安心感のあるピンクを採用し、扉の色に使用しました。扉から入ってくる人や一歩を踏み出す人を、優しく見守ります。



## 新しいサイトで新たな出会いを

リブランディングと同時に、グラミン日本の公式ウェブサイト进行全面リニューアルしました。1人でも多くの方に私たちの存在と活動を知っていただけるよう、親しみやすいデザインと、必要な情報に簡単にたどり着けるシンプルな設計を心がけました。グラミン日本が目指す社会や活動の基盤となるユネス・ソーシャルビジネス7原則、支援モデルなどを紹介するとともに、実際に支援を受けた方々(グラミンメンバー)や活動を支え

るプロボノの声も掲載しています。随時、最新の情報が追加されますので、グラミン日本をご存知の方や、すでにご支援をいただいているみなさまも、ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。サイトリニューアルをきっかけとして、新たなパートナーやプロボノ、そして何よりも未来のグラミンメンバーとの出会いが生まれることを心より願っています。



## 「学んで、稼ぐ」シングルマザーを応援 就労支援プログラム 「フラワープロジェクト」

シングルマザーに最も必要とされるものの一つが経済力です。無理せず、楽しく働いて、安定した収入を得ることで、金銭的にも精神的にもしっかりとした基盤が築けます。十分な収入につながるスキルを習得して、一時的ではない本物の経済力を自分のものにしてほしい。そんな願いから、グラミン日本ではシングルマザーの就労支援プログラムを行っています。

### デジタルスキルで 求められる人材に

2021年度は、デジタルスキルに特化した2つの就労支援プログラムを実施しました。第1期では、主にデジタルメディアで活動するライターを目指し、また第2期では、人手不足や生産性向上で注目が集まるRPAエンジニアを目指して、計11名のシングルマザーなどが参加しました。

フラワープロジェクトは、一般財団法人リープ共創基金による、コロナ禍で困窮する若者に就労機会を提供する助成プログラム「キャッシュフォーワーク」に基づくものです。

その特徴は、グラミン日本が参加者を直接雇用し、3カ月間にわたって給与を支払いながら、スキルアップのための研修や就労体験を積んでいただく点です。学びながら仕事に取り組み、習得したスキルを

実践の場で活かすことで「稼ぐ力」が身につきます。ただし、技術的な知識や技能などのハードスキルだけでは、安定して仕事を続けていくことはできません。ビジネスコミュニケーションや論理思考などのソフトスキル、そして、意思決定や自己認識、金融リテラシーといったライフスキルが基盤となり、本当の意味での自立がかないます。

グラミン日本独自の、5人一組の互助グループ、自分を知り・夢を見つける「リード・ザ・ジブン」、デジタルツールを駆使したきめ細やかなサポートなどを通じて、参加メンバーが本来持つ力強さが引き出されていきました。10ページでも参加メンバーの声を紹介しているので、ぜひそちらもお読みください。これまでの実行団体に加えて、キャッシュフォーワーク2022では、資金分配団体としても初めて採択されました。グラミン日本としてデジタル就労支援を全国展開すると同時に、他団体への横展開の準備を進めています。

### 眠れる預金でポテンシャルが覚醒する

#### 休眠預金とその活用の仕組み

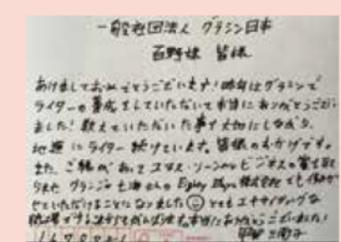
銀行等に預入されたまま10年以上取引のない預金は休眠預金と呼ばれ、毎年800億円程度発生しています。この資金を民間での公益的な活動の支援に有効活用するために、2018年1月に「休眠預金等活用法」(正式名称「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」)が施行され、子ども若者支援、生活困難者支援、地域活性化等支援の3分野においてNPO法人などの民間団体が行う公益活動に活用されることになりました。



## やっと見つけた、 私に優しい働き方



甲斐三南子さん



甲斐さんからグラミン日本に届いた年賀状

デジタルライター育成のフラワープロジェクトに参加する前は、キャリアについてのコンプレックスがありました。大学在学中に難病を発症して正社員としての就職をあきらめ、非正規ゆえの貧困を身に染みて感じてきたからです。健康面での不安も残り、キャリアを手にするためには無理し続けなければならないのかと、やるせない思いを抱いていました。

でも、プロジェクトの参加を通して働き方に対する視野が大きく広がりました。体が弱いことも含めて私は私、そんな自分を軸にした「私に優しい働き方」をしてもいいのでは、と意識が変わったのです。フラワープロジェクトは私に、気持ちの面でもスキルの面でも大きな変化をもたらしてくれました。

ライターとしての活動を経て、現在は念願の正社員として働いています。今後は仕事を自らつくり出せる人となって活躍し、そしていつかは、私と同じように自信が持てず、社会復帰を難しく感じている女性たちに寄り添い、支援をする立場になれたらと思っています。

### 参加者の声



## スキルだけじゃない 手にしたのは自分への信頼



出産後すぐに彼に振られ、精神的にも経済的にも先行きが不安で悩んでいる時、キャッシュフォーワークの募集を知り、藁にもすがる思いで参加しました。それまではただ途方に暮れていた時間が、今後について具体的に考えたり、RPAを勉強する時間に変わりました。

参加中は毎週末に成果を発表するので、定期的に考えを言語化する機会がありました。フィードバックをもらい、さらに思考を繰り返すことで、考えの強度が上がり、自分の決断に少し自信が持てるようになりました。色々迷って将来のビジョンが全く見えていなかった状態から、3カ月後には、新居、子どもの保育園の確保、新しい働き方と、着実に選択して前向きに行動できるようになったと感じています。

卒業後の現在は、キャッシュフォーワークでトレーニングプログラム開発などを担当したRobo-Co-opに所属し、仕事をしています。今後もRPAスキルを磨きながら、副業として続けたいと思っています。経済的な余裕が生まれて子どもと旅行したり、将来的には自分の好きな料理や絵を描く仕事に就いて子どもを養っていくのが私の夢です。



ヤマシタリエさん (仮名)

## コロナ禍でも年間29回のワークショップを開催! マイクロファイナンス (小口融資)

グラミンの支援モデルの中核をなすマイクロファイナンス。生活困窮の状態にある方々に、起業や就労に必要な少額の資金を低利・無担保で融資するとともに、起業プランや金融トレーニングを通じたワンストップの支援を提供します。5人1組の互助グループの形成や継続的なフォローアップにより、「誰一人取り残さない」を目標に最後まで伴走します。

### オンライン化で 見えてきた新たな可能性

プロボノや学生ボランティアの方々とともに、一歩踏み出そうとするシングルマザーの方々の背中を押す「ミライWorkShop」(旧: プチ起業ワークショップ)を、年間を通じて開催しました。ワークショップとは、マイクロファイナンスの融資を希望する方に、まず参加していただく無料説明会です。2021年は新型コロナウイルスの感染拡大により、すべてのワークショップをオンライン形式で行い、全29回、計203名の方に参加いただくことができました。従来は首都圏中心だった参加者が、海外も含む広い地域に広がったのはオンラインならではの利点と言えます。設立4年目を迎え、ワークショップの構成も進化を続けています。

#### ミライWorkShop:0 自身について知る

人生曲線などのワークを通して自身の価値観や信念を知り、将来なりたい姿や実現したい夢をクリアにする。

#### ミライWorkShop:1 起業アイデアを形にする

顧客ターゲットの設定や資金計画などの、どんな事業にも欠かせない要素を明確にして、起業アイデアを「実際にインパクトを生み出す事業」の形に変えていく。

#### ミライWorkShop:2 開業プランをつくる

開業に向けた手続きやスケジュールを確認し、明日にでも動き出せるように準備する。

構成を今まで以上にシンプルにしたことで、目的がより明解になり、参加者の意欲が高まる効果生まれています。経済的に自立したい、小さくても自分らしいビジネスを立ち上げたいという思いを胸にワークショップに参加した方が、実際にゼロから事業を立ち上げ、夢を実現しています。さらに、それに刺激を受けた他の参加者が、また一歩踏み出す。この好循環サイクルを大きなうねりにすることが今後の課題です。

### 外部団体との連携により 広く、深くリーチする

グラミン日本の活動を1人でも多くの方に知っていただき、支援を必要とする方にアクセスしてほしい—それが私たちの願いです。しかし、目標実現に向けた壁は少なくありません。まず、私たちの存在を知ってもらうこと。融資を受けて事業を起こすことは、特別なことでも、難しいことでもないという理解してもらうこと。そして、今は苦しい状態にあっても、夢を持って実現する力が自分にあると信じてもらうこと。これらの壁を突破するため、シングルマザーなどを対象とした豊富な支援実績を持つ外部団体との協働をこれまで以上に進め、成長のエンジンとすることにしました。2021年は、日本シングルマザー支援協会、MAIA、ハートフルファミリーなどと連携し、ワークショップを共同開催しました。今後も、互いの強みを活かせるさまざまな団体とのパートナーシップを通じて、多くの方にグラミン日本のサービスを活用していただけるよう外部連携を積極的に推進していく予定です。

絶対に  
プログラマーになる!

特技を活かしてプロの  
イラストレーターに

介護福祉  
資格をとる!

訪問看護師として  
独り立ち!

障害児と旅行ができる  
情報サイトを運営!



グラミン日本のマイクロファイナンスの特徴は  
5人一組の互助グループを組む点です。  
一緒にがんばる仲間がいるから夢が広がり、着実に前進できます。

VOICE

### 「好き」を仕事にして生まれた、 もう1つの目標



渡部さん

いつかは鍼灸院を開業したいと思いながら、グラミン日本のワークショップに参加するまでは、具体的な行動を起こせずにいました。どこかで「できるわけがない」と思っていたのかもしれませんが。アドバイスを受けながら事業計画をつくり込み、お金の現実と向き合ううちに、それまでの甘い考えを猛省しました。一番変わったのは考え方です。変なプライドが邪魔して、難しそうな問題からは逃げるばかり考えていたのが、前向き思考に変化しました。そしてついに融資を受け、鍼灸院の開業に漕ぎつけたのです。数年ぶりに鍼灸師としてお客さまからお金をいただいた時、私はこの仕事が本当に好きなんだと感じました。絶対に続ける!と、覚悟を決めました。同時に、これで終わりではないとも思いました。グラミンで出会った仲間は、起業の先に本当の人生の夢を持っている。では、私はと考えたのです。そこで人生の後半に思いをめぐらし、鍼灸院併設のシェアハウスという新しい目標を手に入れました。技術力と集客力をアップして、経営を軌道に乗せるのが当面の目標ですが、子どもが独立するころには、次の夢の実現に向けて動き出すつもりです。

## Messages from the Members

# 支援した方々からのメッセージ

みなさまの温かいご支援が、多くの女性たちの未来を確かに変えています。  
ワークショップや金融支援を受け、自立に向けて歩き出した  
グラミンメンバーのメッセージを届けます。

似た境遇のチームメンバー達と時間を共有することで「私はひとりじゃない」と思えました。グラミン日本と関わるようになり、私はまた自分を好きになれました。

子どもがいながら就職活動するのはハードルがとても高かったので、勉強をしながら給与を受け取れてとてもありがたかった。失職してから失っていた自信を少し取り戻せた気がする。

起業について貴重な意見をもらえて、ありがたかった。具体的な行動を早く起こして、夢を現実にしたいと思うようになった。

ひとりだと途中で挫折していたと思う。仲間がいるから最後まで参加できたし、仲間の存在がただただありがたかった。ひとりでないことはとてもいい!!

自分の価値観や、狭い生活行動範囲だけでは気づかない視点からの意見をいただきました。一人で考えているよりも、はるかに早く目標に近づける。もし、自分だけだったら頭の中で終わってしまっていたかもしれません。

自分の良いところや強みを、グループのみんなから言ってもらえてうれしい! 弱みも相談できて心強い!! 安心感が違った。

チームワークが苦手なのでみんなと協力できるかな?とっていたが、いざ始めてみると、居場所を得たように感じたし、メンバーの話聞いて心打たれた。

自分の仕事を認めてもらえることは、何にも代えがたい嬉しさがある!!

収入に少し余裕ができて、今まで諦めていたことも少しずつかなえられるようになっていく。

ジョブトレーニングを通じて、興味があったことに実際に取り組むことができた。

メンバーのみんなが今より良くなろうと頑張っている様子を見ることができて、自分も頑張ろうと思えた。

お金をもらいながら学ぶことで「こんなに応援していただいているのだから自活できるようにならなければ!」という責任感が芽生えた。

タスク管理、SNS分析、自己PR、報告書の書き方など、今後働くうえでのベーシックスキルを身につけることができた。

3か月間でコミュニケーション力と自信を身につけ、育児や家事で疲弊していた心を前向きにリセットすることができました。

# Partners & Supporters

## ご支援いただいたみなさま

資金提供、事業連携、起業・就労支援、プロボノとしてのご協力など、さまざまな形で多大なるご支援・ご協力をいただき、心から感謝しています。

### 2021年度ご支援企業・団体



**アクセントチュア株式会社**  
設立当初からご支援いただき、近年はマーケティング領域における戦略策定を中心に尽力いただいています。



**株式会社UPDATER**  
賛助会員として、また「グラミンでんき」事業により、電気代のうち一定額をご支援いただいています。



**SAPジャパン株式会社**  
雇用マッチング型の就労支援プラットフォームをご提供いただくとともに、運営も支援いただいています。



**エヌエヌ生命保険株式会社**  
チャリティラン・ウォークによる寄付のほか、社員の方の中小企業サポーターとしての知見が生きる活動も始まっています。



**The Coca-Cola Foundation**  
ご寄付を通じて、シングルマザー向けの自立支援およびエンパワーメントプログラムを支援いただいています。



**一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)**  
休眠預金事業の実行団体に採択されたことで、キャッシュ・フォー・ワークプロジェクトを実施できました。



**ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社**  
2019年から、日本オフィスよりBlackstone Charitable Foundationを通じて支援いただいています。



**三井不動産株式会社**  
グラミン日本の活動に賛同いただき、賛助会員としてご支援いただいています。



**医療法人社団咲優会**  
賛助会員とし、グラミン日本の活動をバックアップいただいています。



**株式会社セプテーニ・ホールディングス**  
賛助会員として、またプロボノ派遣などを通じて、支援いただいています。

- 【 起業や就労のご支援 】Animo株式会社 / 一般社団法人日本シングルマザー支援協会 / 日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会 / NPO法人のわみサポートセンター / 一般社団法人ハートフルファミリー / MAIA株式会社 / ランサーズ株式会社 / 一般社団法人Robo Co-op
- 【 プロボノのご支援 】アクセントチュア株式会社 / SAPジャパン株式会社 / SMBC日興証券株式会社 / エヌエヌ生命保険株式会社 / 株式会社オズマピーアール / 株式会社ガイアックス / 株式会社キート / 株式会社セプテーニ・ホールディングス / デロイトトーマツコンサルティング合同会社

# ご支援のお願い

グラミン日本の活動は、みなさまのご支援に支えられています。

これまで多くのご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。より一層の事業拡大のため、引き続きご支援をお願いいたします。お寄せいただきますご支援・ご寄付は、「誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会」の実現に向けて、有効に活用させていただきます。

### 外部寄付サイトcongrantよりご寄付いただけます

毎月のご寄付  
(マンスリーサポート)

毎月定額を寄付する



[https://congrant.com/credit/form?project\\_id=1952](https://congrant.com/credit/form?project_id=1952)

今回のご寄付

自由な額を寄付する



[https://www.congrant.com/credit/form?project\\_id=3288](https://www.congrant.com/credit/form?project_id=3288)

### ご寄付以外のご支援について

#### 個人のみなさま

グラミン日本へプロボノとして参画し、日本の貧困問題の解決に取り組んでいただく方を募集しています。

#### 法人のみなさま

ご寄付によるご支援以外にも、次のようなパートナーシップを結ばせていただいています。

#### 助成金・基金によるご支援

基金はグラミン日本の資本金に充てられます。「ユネス・ソーシャルビジネス7原則」に基づき、配当は行いません。事業利益は主に、グラミン日本の事業を改善・拡大するために使わせていただきます。

#### 賛助会員としての継続的なご支援

賛助会員は、グラミン日本とともにエコシステムを形成する「アンバサダー」であり、「パートナー」です。会員区分に応じた特典をご提供します。

#### 商品やサービスなどの資金のご提供

#### シングルマザーの方々への起業や就労のご支援

#### プロボノとして参画

# 財務会計報告

## 貸借対照表

2021年9月30日現在

(単位:円、税抜)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	14,252,588	17,333,377	-3,080,789
未収入金	92,694	750	91,944
前払費用	381,719	572,193	-190,474
短期貸付金	1,414,573	310,715	1,103,858
貸倒引当金繰入	-168,158	-	-168,158
流動資産合計	15,973,416	18,217,035	-2,243,619
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
助成金	18,415,918	2,000,000	16,415,918
特定資産合計	18,415,918	2,000,000	16,415,918
(2) その他の固定資産			
一括償却資産	-	60,668	-60,668
敷金	1,439,272	1,439,272	-
長期前払費用	23,601	42,699	-19,098
その他固定資産合計	1,462,873	1,542,639	-79,766
固定資産合計	19,878,791	3,542,639	16,336,152
資産合計	35,852,207	21,759,674	14,092,533
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	400,000	1,533,688	-1,133,688
未払費用	869,870	95,746	774,124
未払法人税等	70,000	70,000	-
前受金	-	1,000,000	-1,000,000
預り金	336,107	-	336,107
流動負債合計	1,675,977	2,699,434	-1,023,457
負債合計	1,675,977	2,699,434	-1,023,457
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 基金	16,020,000	16,020,000	-
2. 指定正味財産	18,415,918	2,000,000	16,415,918
(うち特定資産への充当額)	-11,995,223	-10,079,680	-1,915,543
3. 一般正味財産	-259,688	1,040,240	-1,299,928
正味財産合計	34,176,230	19,060,240	15,115,990
負債及び正味財産合計	35,852,207	21,759,674	14,092,533

## 正味財産変動計算書

2020年10月1日から2021年9月30日まで

(単位:円、税抜)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	20,415,000	18,562,900	1,852,100
受取会費	4,624,000	8,320,000	-3,696,000
事業収益	135,420	21,688	113,732
受取寄付金	3,681,847	141,358	3,540,489
受取補助金等	11,973,576	10,079,680	1,893,896
雑収益	157	174	-17
(2) 経常費用	21,717,509	21,790,216	-72,707
事業費用	8,849,179	9,369,227	-520,048
管理費用	12,868,330	12,420,989	447,341
当期経常増減額	-1,302,509	-3,227,316	1,924,807
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	2,581	147,136	-144,555
(2) 経常外費用	-	619,719	-619,719
当期経常外増減額	2,581	-472,583	475,164
当期一般正味財産増減額	-1,299,928	-3,699,899	2,399,971
一般正味財産期首残高	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
一般正味財産期末残高	-259,688	1,040,240	-1,299,928
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
受取助成金	28,411,141	12,079,680	16,331,461
一般正味財産への振替額(助成金等)	-11,995,223	-10,079,680	-1,915,543
当期指定正味財産増減額	16,415,918	2,000,000	14,415,918
指定正味財産期首残高	2,000,000	-	2,000,000
指定正味財産期末残高	18,415,918	2,000,000	16,415,918
<b>III. 基金増減の部</b>			
基金期首残高	16,020,000	16,020,000	-
基金受入額	-	-	-
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	-
<b>IV. 正味財産期末残高</b>	34,176,230	19,060,240	15,115,990

# 団体概要

団体名 一般社団法人 グラミン日本  
 所在地 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-7 東信室町ビル4階  
 電話番号 03-3516-2890  
 登録番号 東京都知事(T2)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号  
 H P <https://grameen.jp/>

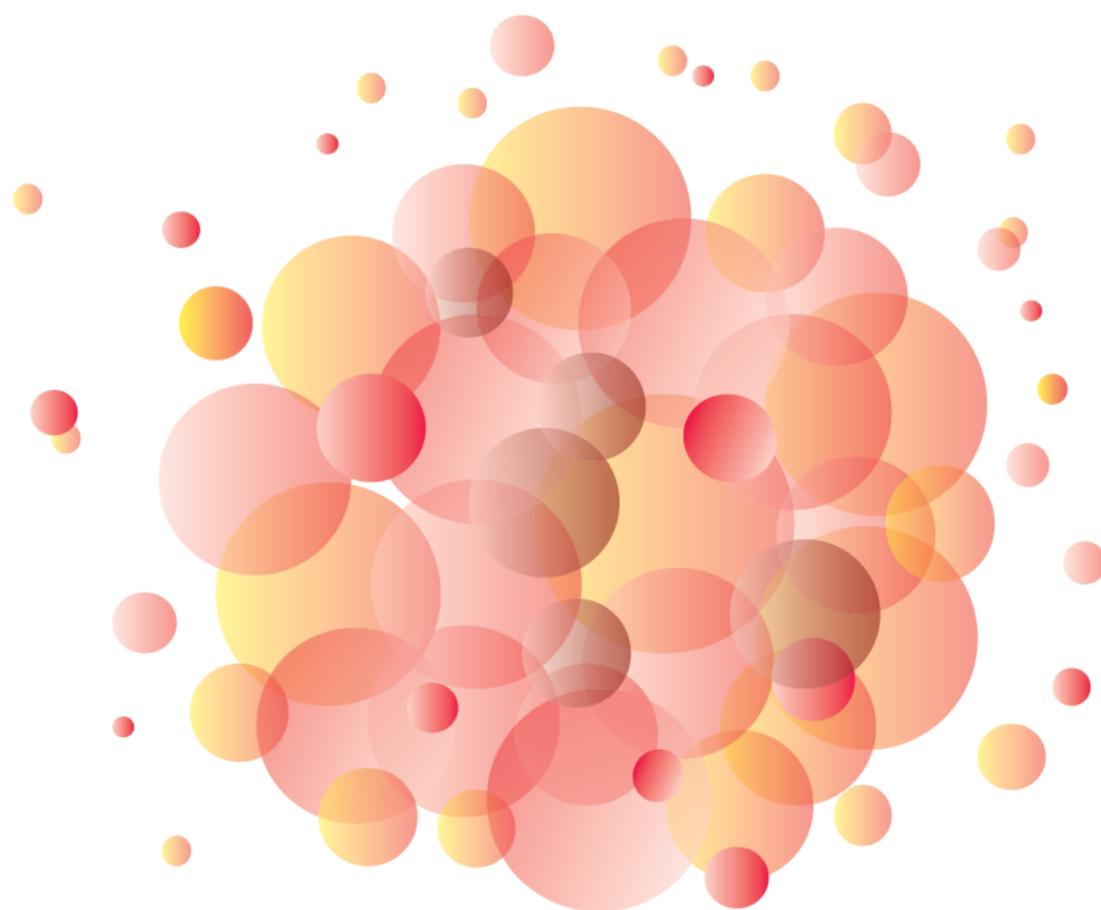
名誉会長 ムハマド・ユヌス博士 顧問 岩下 千草  
 創設者 菅 正広 宇佐美 潤祐  
 理事長・CEO 百野 公裕 太田 智  
 理事・事務局長 中川 理恵 金 辰泰  
 理事 シェファール・平ダーヴィッド 児玉 都  
 理事 白瀧 征人 小林 立明  
 理事 児玉 久実 根本 剛史  
 理事 高橋 歌織 羽生田 慶介  
 監事 大倉 然 東出 忠昌  
 三上 幸司  
 望月 利昭

## [アドバイザーボード]

青井 浩 株式会社丸井グループ 代表取締役社長  
 入江 のぶこ 東京都議会議員  
 内田 士郎 SAPジャパン株式会社 代表取締役会長  
 江成 道子 一般社団法人日本シングルマザー支援協会 代表理事  
 大石 英司 株式会社UPDATER 代表取締役社長  
 小原 壮太郎 一般社団法人the Organic 代表理事  
 加藤 智康 三井不動産株式会社 常務執行役員  
 神 永 晋 元住友精密工業株式会社 代表取締役社長  
 橋田 大輔 ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 代表取締役  
 塩田 真弓 株式会社テレビ東京 報道キャスター・記者  
 島田 圭子 ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ・ジャパン・インク マネージング・ディレクター  
 鈴木 敦子 NPO法人ETIC.  
 中内 綾 一般社団法人アフリカ協会 理事  
 中村 誠司 Team Energy株式会社 代表取締役  
 丹羽 恵久 ボストン・コンサルティング・グループ Managing Director & Partner  
 原 丈人 アライアンス・フォーラム代表理事、デフタパートナーズグループ会長  
 平野 啓一郎 芥川賞作家  
 藤沢 久美 シンクタンク・ソフィアバンク 代表  
 藤田 英明 株式会社アニスピホールディングス 代表取締役社長  
 古村 伸宏 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ) 連合会 理事長  
 M I N M I シンガーソングライター  
 安井 正樹 PwCコンサルティング合同会社 パートナー、一般財団法人PwC財団 代表理事  
 安田クリスティーナ 国際NGO InternetBar.org ディレクター

2022年4月現在。五十音順。敬称略

# Annual Report 2022



あなたと一緒に、新しい「支援」のカタチを創造。

一般社団法人 グラミン日本  
第6期 事業報告書



GRAMEEN  
NIPPON

より早く、より確実に、  
より遠くまで、支援を届けたい。  
そのために私たちは、全国の自治体、  
企業、支援団体のみなさまとつながります。

パートナーとともに  
より良い未来を。

2018年に始まったグラミン日本の挑戦は、着実に実を結びつつあります。一方で、シングルマザーをはじめとする生活困窮者を取り巻く環境は、厳しさを増しています。企業、自治体、他の支援団体、そして個人サポーターのみなさまと連携することにより、私たちだけの力では届かないところにまで支援を行き渡らせる。そのためにグラミン日本は、これまで以上にパートナーシップを強化してまいります。

グラミン日本の活動は、みなさまのご協力によって支えられています。引き続きのご支援を、よろしくお願いいたします。



グラミン日本 理事長  
百野 公裕

## contents

- 3 理事対談・違いがあるから「価値」が生まれる
- 5 グラミン日本を知る
- 7 ハイライト2021-2022
- 9 支援モデルと実績
- 11 メンバーの声「彼女たちのストーリー」
- 15 パートナーシップ
- 17 共創事例 企業インタビュー
- 21 財務会計報告・団体概要





## グラミン日本を知る

誰もがいきいきと活躍する持続可能な社会に向けて  
私たちは、歩み続けます。

### グラミン日本とは

先進国には貧困国とは異なる「相対的貧困」の問題があります。日本の相対的貧困率はG7のなかで米国に続いて2番目に高い水準にあり、特にシングルマザーや非正規労働の女性たちなどが経済的に厳しい状況に置かれています。

グラミン銀行の日本版として2018年に設立されたグラミン日本は、バングラデシュをはじめ世界各国で蓄積されたマイクロファイナンス事業の知見を活かし、豊かな国にふさわしいアプローチで日本の貧困問題を解決するために挑戦を続けています。



#### MISSION 組織の使命

マイクロファイナンスと多様なパートナーとの共創によって生まれる「一歩を踏み出す機会」を、人々に提供していきます

#### VISION 組織が目指すゴール

誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会

#### VALUE 団体の価値観

チャンスを願い、一歩を踏出そうと想う人々の伴走者であること

### グラミン日本のあゆみ

9月 グラミン日本設立。事業を開始

1月 第1回 SDGs コンソーシアムを開催

2月 第2回 SDGs コンソーシアムを開催

9月 ボランティアサポーター募集説明会を開催

4月 新型コロナウイルス感染防止のため、対面でのイベント・ミーティング等をオンライン化

11月 みんな電力株式会社との協業により、グラミン日本から融資を受けている方の自立を支援する電力プラン「グラミンでんき」サービスを開始

2月 シングルマザーのデジタル人材化支援事業を開始

3月 米国コココーラ・ファンデーションによる、シングルマザー就労支援のための15万ドルの寄付を受諾

4月 デジタルスキルに特化したシングルマザー就労支援プログラムを、ランサーズ、日本シングルマザー支援協会との協業で開始

### 私たちが目指す社会

- ✓ 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット・ソフトインフラとして整備されている社会
- ✓ 生業的な起業（プチ起業・小商い）が普通にできる社会
- ✓ Job Seeker（仕事を探す人）より、Job Creator（仕事を創造する人）が活躍できる社会
- ✓ 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- ✓ ユヌス・ソーシャルビジネス7原則が実践される社会
- ✓ 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

### ユヌス・ソーシャルビジネス7原則

- 01 利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること
- 02 財務的に持続可能であること
- 03 投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと
- 04 投資額以上の利益は、ソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと
- 05 環境へ配慮すること
- 06 スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること
- 07 楽しみながら仕事をする



グラミン銀行はムハマド・ユヌス博士により、1983年にバングラデシュで設立されました。貧困層を対象に5人組の互助グループを形成し、低利・無担保で融資するマイクロファイナンス事業を展開。借り手のほとんどは女性で、融資金を元手にスモールビジネスを起し、経済的自立を目指します。2006年、ユヌス博士とグラミン銀行は、貧困削減に寄与した功績によってノーベル平和賞を受賞しました。

5月 休眠預金を活用したシングルマザー向けの自立支援事業「キャッシュフォーワーク」をランサーズ、日本シングルマザー支援協会と共に開始

8月 SAP ジャパン、MAIA と共に「でじたる女子」プログラムの提供を開始

10月 生活困窮者の自立を支援する「グラミンでんき」、法人需要家向けにサービスを拡大

1月 団体設立以来初めてとなるリブランディングを実施

2月 休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に初めて採択される

4月 公式ウェブサイトをリニューアル

4月 KAKEAI と共に生活困窮者支援のために ICT を活用した取り組みを開始

6月 愛媛県と「でじたる女子活躍推進コンソーシアム」連携協定を締結

8月 仙台支部を新設

9月 鹿児島市と「でじたる女子活躍推進コンソーシアム」連携協定を締結

9月 第2期「でじたる女子」プログラムを開始

9月 法人向けサービスサイトを開設

2018・2019

2020

2021

2022